ID　025-017
非常用発電機（ガレージ）

工事名　東聖小学校非常用発電機設置工事

完成図面

工期　平成27年11月26日～平成28年2月29日

請負人　(有)山菱電気工業

東聖小学校非常用発電機設置工事

H27 ガレージ

増改築⑧

東聖小学校非常用発電機設置工事

2015年10月15日

東聖小学校非常用発電機設置工事特記仕様書

I　工事概要及び範囲

1．工 事 場 所　上川群東神楽町ひじり野南1条2丁目62.73

2．工 事 範 囲

工期	適用欄		名　称	工事種別	構造	階数	延べ床面積(m2)	備　考
		1	非常用発電機室	新築	S　造	1階	18.23	ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ造
		2	校舎棟	改修				一部内部

3．建設工事に係る資材の再資源化に関する法律の対象の有無　● 有り ○ 無し

4．指定部分工事

5．別 途 工 事

6．その他

II　建 築 工 事 仕 様

1．共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(平成25年版)［平成26年3月改定]」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし，標準仕様書に記載されていない事項は，「公共建築改修工事標準仕様書（平成25年版）［平成26年3月改定]」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版）」(以下「解体共通仕様書」という。）、「北海道建設部土木工事共通仕様書（平成26年度版）」による。

2．特記仕様

1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と⊗印のついた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の（ ）、＜ ＞及び［ ］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項

① 一般共通事項

① 一般事項

⊙ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上，指示に従うこと。

⊙ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。

⊙ 施工体系図を現場に掲示すること。

・ 工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。

調査範囲　※ 図示

② 適用基準等

⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成22年版）

⊙ 工事写真の撮り方〈建築編〉第２編 工事写真の撮り方（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

・ 建築構造設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成25年版）

3．概成工期

工事工期より　　日前　(1.2.1)

④ 工事実績情報(CORINS)の登録

※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　(1.1.4)

受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。

・ 適用しない

⑤ 発生材の処理等

発生材の処理　(1.3.8)

・引渡しを要するもの（　　　）

・特別管理産業廃棄物（　　　）

受入れ施設名・所在地(km)

・再生資源化を図るもの

種　類	受入施設名	所在地 (Km)	備　考
・ セメントコンクリート塊			
・ アスファルトコンクリート塊			
・ 建設発生木材			
・ 建設汚泥			

・現場において再利用を図るもの（　　　）

・その他の廃棄物（安定型)(　　　）

受入れ施設名・所在地(km)

・その他の廃棄物（管理型)(　　　）

受入れ施設名・所在地(km)

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。

また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。

⑥ 電気保安技術者

・ 適用する　※ 適用しない　(1.3.3)

⑦ 事故報告　(1.3.10)

工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

⑧ 建築材料等

材料の品質等　(1.4.2)

本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。

特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。

環境への配慮　(1.4.1)

本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「北海道公共建築工事シックハウス対策マニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。測定対象化学物質を含有していないものを基本とし、安全データシート（SDS）や成分組成表により確認を行う。

ホルムアルデヒド仕様

使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合の該当する建築材料

1）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品

2）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品

3）次の表示のあるＪＡＳ適合品

- a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
- b．接着剤等不使用
- c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
- d．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
- e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

9．室内の空気中の化学物質濃度の測定

⊗ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　(1.5.9)

試料採取及び測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか，拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。

測定対象物質		
※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	(濃度指針値	100μg/m3 ・ 0.08ppm)
※ ｽﾁﾚﾝ	(濃度指針値	220μg/m3 ・ 0.05ppm)
※ ﾄﾙｴﾝ	(濃度指針値	260μg/m3 ・ 0.07ppm)
※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	(濃度指針値	3,800μg/m3 ・ 0.88ppm)
※ ｷｼﾚﾝ	(濃度指針値	870μg/m3 ・ 0.20ppm)

測定する室等：

採取方法：吸引方式又は拡散方式とし，拡散方式では８時間採取する。

測定結果等報告書の提出

次の事項を記載した報告書を２部提出する。

a 測定結果

b 試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数）

c 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器

測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は，引渡は受けない。

・ 総揮発性有機化合物の測定

測定方法，測定物質及び測定か所等については，この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。

⊗ 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については，施設管理者に依頼する。

10．特別な材料の工法

「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

⑪ 建築基準法による風圧力等の指定

(8.4.3) (8.5.3) (13.2.3) (13.3.3) (13.4.3) (14.7.3) (16.11～13.2) (16.14.5)

適　用　工　事	建築基準法の指定
・ 長尺金属板葺　・ 折板葺	風速(V0)　※３０　・
・ アルミニウム笠木	地表面粗度区分　・Ⅱ　⊙Ⅲ
・ ガラスブロック・ ＡＬＣ外壁パネル	垂直積雪量　130　cm
・ 押出成形セメント板外壁パネル	
・ 重量シャッター・ 軽量シャッター	
・ オーバーヘッドドア	

⑫ 設計G.L.

※ 図　示　　⊙ 現状平均地盤高

⑬ 技　能　士　(1.5.2)

⊙ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。

※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。

・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工　事　種　目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	⊙該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	・とび（とび作業）
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工（型枠工事作業）
	・コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	・とび（とび作業）
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事	・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業）
	・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
防水工事	・防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業　）
石工事	・石材施工（石張り作業）
タイル工事	・タイル張り（タイル張り作業）
木工事	・建築大工（大工工事作業）
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）
	・かわらぶき（かわらぶき作業）
金属工事	・内装仕上施工（鋼製下地工事作業）
	・建築板金（内外装板金作業）
左官工事	・左官（左官作業）
建具工事	・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）
	・ガラス施工（ガラス工事作業）
	・自動ドア施工（自動ドア施工作業）
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・カーテンウォール施工（金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業）
	・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）
	・ガラス施工（ガラス工事作業）
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・ボード仕上工事作業　）
	・表装（壁装作業）
排水工事	・配管（建築配管作業）
舗装工事	・路面表示施工（・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業　）
植栽工事	・造園（造園工事作業）

⑭ 完成図等

※ 完成原図	1部
・ マイクロフィルム	1部
※ 青焼、又は白焼２つ折製本	1部
※ 青焼、又は白焼Ａ４版折製本	1部
※ 青焼、又は白焼縮小（Ａ３版）２つ折製本	1部
※ 完成図面電子データJWW形式又はDXF形式 若しくはTIFF形式（解像度300DPI程度）	CD1枚

⑮ 工事写真

※ 作成する　・ 作成しない

工程写真及び、完成写真は北海道建設部監修営繕工事記録写真撮影要領による。

⑯ 設備工事との取合い

施工範囲　各工事の区分表による。

施 工 図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

⑰ 火災保険等

工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。

保険の種類　※ 火災保険　※ 建設工事保険

保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで

18．住宅瑕疵担保責任

住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け

・あり（新築住宅の場合）　・なし（新築住宅以外の場合）

② 仮設工事

① 仮囲い

※ 設ける　・ 設けない

仮囲いの位置及び延長は図示による。

・万能鉄板(H=　)　・波型鉄板(H=1.8)　・単管ｼｰﾄ(H=　)

・シートゲート（H=　，W=　）×　箇所

・パネルゲート（H=7.2，W=4.5）×　1箇所

⊙ガードフェンス（H=1,800)

2．危害防止

※ シート張り　・ 金網養生

3．交通誘導員

・ 配置する（ 日 ×1人 ＝ 人日）　※ 配置しない

4．揚重機械器具

・ ラフタークレーン（　t吊り）×　日

・ ラフタークレーン（　t吊り）×　日

⑤ 監督職員事務所

※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）

・ 設ける（規模　㎡程度　請負者事務所と同棟　・可　・否）

備品（　　　）

⑥ 工事表示板

受注者は、着工後速やかに公衆の見やすい場所に工事標識を掲示する。

工　事　標　識	
工事名	
発注者	
工事期間	平成　年　月　日～平成　年　月　日
請負業者	
設計者	
工事監理者	
工事現場連絡所	○○○○○現場事務所 （電話）××局××××

1,200

1,350

7．事業コスト表示板

・ 設置する（設置枚数　※ 1枚　・　枚）　※ 設置しない

⑧ 工事用水

構内既存の施設　・ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない

⑨ 工事用電力

構内既存の施設　・ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない

⑩ 工事用通路

※ 指定しない　・ 指定する（図示）

⑪ 足場等　(2.2.4)

足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

⑫ その他の仮設

⊙ 仮設敷鉄板　(1524×6096×22)　位置は図示による

③ 土工事

① 埋戻し及び盛土の種別

種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　(3.2.3) (表3.2.1)

Ｃ種の場合　建設発生土受入数量　㎡

発生場所

② 建設発生土の処理　(3.2.5)

⊙ 構外に搬出し適切に処理する。

・ 構外指示の場所に搬出する。

受入れ施設名・所在地（km）

・ 構内指示の場所に敷きならす。

・ 構内指示の場所にたい積する。

3．山　留　め

・ 設置する　・設置しない　(3.3.1)

・ 存置する　・存置しない　(3.3.3)

④ 地業工事

1．既製コンクリート杭・鋼杭地業

杭の種類　(4.3.2) (4.4.2)

・ プレストレストコンクリート杭（JIS表示承認製品）

・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

(4.3.2)

	記号	杭径（mm）	長さ(m)及び種別	設計支持力	セット数	備　考
試験杭	⊗					
本　杭	○					

継　手　※ アーク溶接継手又は建築基準法の規定に基づき認定された無溶接継手　(4.3.6) (4.4.5)

・

先端部形状　・閉塞平坦型　・開放型　(4.3.2) (4.4.2) (表4.4.2) (図4.4.1)

杭の施工法

・ 掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ　(4.3.3) (4.4.3)

杭先端予定レベルの上方　mのレベルまで

オーガー径　杭径－５０mm程度

・ セメントミルク工法　(4.3.4) (4.4.3)

・ 特定埋込杭工法　(4.3.5) (4.4.4)

（旧建築基準法第３８条の規定に基づき認定された工法）

杭打機の種類

ハンマーの種別　※ 油圧パイルハンマー　・ ドロップハンマー

パイルドライバー　※ 三点支持式クローラークレーン

騒音・振動の測定　・ 行う　※ 行わない

2．場所打ちコンクリート杭地業

コンクリートの種別　・ Ａ種　・ Ｂ種　(4.5.3) (表4.5.1)

掘削工法　・ アースドリル工法　※ 安定液使用　(4.5.4)

・ リバース工法

・ オールケーシング工法

孔内の水張り　※ 行う　・ 行わない

3．地盤改良

工　法（・　　　）

④ 床下防湿層　(4.6.5)

※ 設ける　地中梁がある場合は、250mmのみ込みとする。

・ 設けない

⑤ 土間スラブ（土間コン）下断熱材

※ 設ける　(図示による)

・ 設けない

⑥ 砂利地業

※ 再生クラッシャラン　・（ 切込砂利　(4.6.2)～3)

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種別　(5.2.1) (表5.2.1)

規格名称	種類の記号	径　(mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ ＳＤ２９５Ａ	※ Ｄ１６以下
	※ ＳＤ３４５	※ Ｄ１９以上

2．溶接金網　(5.2.2)

※ JIS G 3551のJIS表示認証製品

線径(mm)　6.0　×　網目(mm)　100

使用箇所（　　　）

③ 鉄筋の継手　(5.3.4)

接合方法	径(mm)	施工箇所
※ 重ね継手	Ｄ１６以下	
※ ガス圧接	Ｄ１９以上	はり　柱の主筋

4．耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ　(5.3.5)

施工箇所等	表5.3.6の値に加える寸法(mm)

⑤ 各部配筋　(5.3.7)

各部の配筋は，図示による。図示がなければ，標準仕様書 末尾資料の「各部配筋　参考図」による。

6．柱の帯筋

※ Ｈ形　・ Ｗ－Ｉ形　・ＳＰ形　(参考図 図2.2)

7．耐震壁を除く壁の開口部補強

・ Ａ形　※ Ｂ形　(参考図 表4.3～4.4)

8．はり貫通孔の補強

補強形式　※Ｈ３形以上　・Ｍ型　・ＭＨ型　(参考図 表7.1～7.3)

9．圧接完了後の抜取試験

試験方法　※ 超音波探傷試験　・ 引張り試験　(5.4.9)

⑥ コンクリート工事

① レディーミクスコンクリート

種　別　※ Ｉ類　・ Ⅱ類　(6.2.1) (表6.2.1)

・コンクリート用骨材の品質試験を実施する。(構造体コンクリートのみ)

（アルカリシリカ反応試験(化学法)、密度試験、吸水率試験）

・コンクリート単位水量測定を実施する。

② 設計基準強度

普通コンクリート（JIS A5308のJIS表示認証製品）　(6.2.2)

Ｆｃ　(N/mm2)	適用箇所
⊙ ２４	
※ ２１	
・ １８	

③ スランプ

基礎，基礎梁，土間スラブ　※ １５cm　・ １８cm　(6.2.4) (表6.2.2)

柱，梁，スラブ，壁　※ １８cm

④ 打放し仕上げの種類　(6.2.5) (表6.2.4)

種　別	施工箇所
・ Ａ 種	
※ Ｂ 種	
・ Ｃ 種	

⑤ セメントの種類

※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　(6.3.1)

【追記】

・地域材の優先使用

本工事に使用する木材または木材を原料とする資材を使用する場合は、地域材を優先的に使用することとし、使用した材料の種別、産地等を監督員に報告すること。地域材とは、道内の森林で産出され、道内で加工された木材をいう。

・合法木材の使用

木材又は、木材を原料とする資材を使用する場合は、間伐材や合法性の証明された材を使用すること。

また、木材の合法性の証明は、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのライドライン」(平成18年2月林野庁)に準拠し、資材納入業者から証明を受けるとともに、証明書類を工事完了年度から起算して5年間保存すること。

一級建築士事務所　北海道知事登録(上)204号

株式会社 創明建築設計事務所

〒070-0038　旭川市8条通17丁目右1号

Tel:0166-21-8886　Fax:0166-21-8887

管理建築士	担当建築士	縮尺		検図	設計担当	製図訂正	年月日	工事名	図面番号
一級建築士登録 143974号 三嶋 幸利	一級建築士登録 273215号 佐藤 真一	用紙サイズ	A－1　－ A－2 A－3　－		Sato	Sato	2015.10.15	東聖小学校非常用発電機設置工事 図面名 特記仕様書1	D － 1

⑥ コンクリート工事

⑥ 型枠

(6.8.3)

せき板の種類	板　厚(mm)	適用箇所	備　考
※ 合　板	※ 12　・		
・ 床型枠用鋼製デッキプレート			
・ 断熱材兼用型枠			

ＭＣＲ工法用シート　※ 適用しない　・ 適用する

・ ひび割れ誘発目地 (6.8.2)
目地寸法　※ 図示
位　置　※ 図示

7. 軽量コンクリート

(6.10.1) (表6.10.1)

種　別	適　用　箇　所	所要気乾単位容積質量（t／m3）

8. 寒中コンクリート

(6.11.2～4)
初期養生期間　コンクリート圧縮強度が５N/mm２に達するまで行うこと。

9. 無筋コンクリート

適用箇所は(6.14.1)による他、下記による。 (6.14.1)

適　用　範　囲

10. 流動化コンクリート

(6.15.1) (6.15.3)

種　別	ベースコンクリートのスランプ(cm)	流動化コンクリートのスランプ(cm)	使用箇所
普通コンクリート	・10　・12　・15	・18　・21	

⑨ 防水工事

1. アスファルト防水

(9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3～9)

種　別	施　工　箇　所	種　別	施　工　箇　所
・ A－		・ AⅠ－	
・ B－		・ BⅠ－	
・ D－		・ DⅠ－	
・ E－1	屋内(便所・浴室)		

アスファルトの種類　JIS K2207のJIS表示認証製品　※ 3種
- 押さえ金物　(※アルミ製Ｌ－30×15×2.0　・　)
- 断熱材　※ Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温板３種ｂ(スキンあり)
- 脱気装置　(種類・数量：アスファルトルーフィング類製造所の指定とする)
- 溶接金網　(規格　)
- 伸縮調整目地　(※成形伸縮目地　・　)　(表9.2.1)

2. 改質アスファルトシート防水

(9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1～3)

種　別	施　工　箇　所	シートの厚さ
・ AS－T		(表9.3.1～3)による
・ AS－J		
・ ASI－T		
・ ASI－J		

改質アスファルトシートの種類　JIS A6013のJIS表示認証製品
- 押さえ金物　(材質及び形状：　)
- 断熱材　※　Ａ種硬質ウレタンフォーム保温板２種１号又は２号(透湿係数を除く規格に適合するもの)
- 脱気装置　(種類・数量：改質アスファルトシート製造所の指定とする)

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2) (9.4.3) (表9.4.1)

種　別	厚さ　(mm)	施　工　箇　所	保護塗料（露出）
・S－F１	※1.2　・		※カラー　・シルバー
・S－F２	※2.0　・		
・S－M１	※1.5　・		※カラー　・シルバー
・S－M２	※1.5　・		
・S－M３	※1.2　・		

ルーフィングシートの種類　JIS A6008のJIS表示認証製品
- 脱気装置　(材質：　数量：　)
- 絶縁シート　(※発泡ポリエチレンシート　)
- その他の材料（　）

4. 塗膜防水

(9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)

	種　別	施　工　箇　所	保護塗料（露出）
・ウレタンゴム系	・X－1	バルコニー	※カラー　・シルバー
	・X－2	ひさし	※カラー　・シルバー
・ゴムアスファルト系	・Y－1	地下外壁	
	・Y－2	室内（便所・浴室）	

- 脱気装置（材質：ステンレス製又はアルミ製　・　）
（設置数量：　箇所）

5. ケイ酸質系塗布防水

(9.6.2) (9.6.3) (表9.6.2)

種　別	施　工　箇　所
※C－UI ・C－UP	(表9.6.1)による

⑥ シーリング

※　被着体との組み合わせは（表9.7.1）による。 (9.7.2)

7. 防水保証

アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より１０年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。

塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

⑫ 木工事

① 木　材

表面仕上げの程度　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 (12.1.4) (表12.1.1)

含水率　下地材　※ Ａ種　・ Ｂ種 (12.2.1) (表12.2.1)
造作材　※ Ａ種　・ Ｂ種

造作材の材面の品質　※ Ａ種　・ Ｂ種 (12.2.1) (表12.2.2)

代用樹種を使用しない箇所 (12.2.1) (表12.2.3)
※ なし　・ あり（　）

2. 造作用集成材

造作用集成材12.2.1.(c)による (12.2.1)

見付け材面	ＪＡＳによる集成材	そ　の　他
等　級	※ 1等　・ 2等	※ ＪＡＳ集成材１等同等
単材の樹種		
単材の厚さ(mm)	１０～１５	１０～１５

3. 床張り用合板等

床下貼り用合板 (12.2.1)
※　JASの構造用合板　特類　２等以上　C－D以上
・（　）。

④ 防腐・防蟻・防虫処理

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 (12.3.1)
適用部位（　）　保存処理性能区分　・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。

防虫処理 (12.3.2)
ラワン材　保存処理性能区分　※Ｋ１
※　防腐材　キシラモン同等品

⑭ 金属工事

1. あと施工アンカー

引抜き耐力の確認試験　・ 行う　※ 行わない (14.1.3)

② ステンレス表面処理

※ ＨＬ　・ NO.2B (14.2.1)

3. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2) (表14.2.1)

種　類	施　工　箇　所	色　合
・　－　種		
・　－　種		

4. 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3) (表14.2.2)

種　類	施　工　箇　所
・　種	
・　種	

溶融亜鉛めっきの付着量試験　※ 行わない　・ 行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験　※ 行わない　・ 行う

⑤ 軽量鉄骨天井下地

野縁などの種類 (14.4.2) (表14.4.1)
屋内　※ １９型　・ ２５型（室名：　）
屋外　・ １９型　※ ２５型

耐震性を考慮した補強 (14.4.3) (14.4.4)
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等）
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。

⑥ 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3) (表14.5.1)
スタッド、ランナーなどの種類は、(表14.5.1)による。

7. 金属成形板張り

種　別（　）(14.6.2) (14.6.3)
表面処理（　）
※　割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。
伸縮調整継手　・ 設ける　[✓ 設けない]

8. アルミニウム製笠木

表面処理　※ B-1種　・ B-2種 (14.7.2) (表14.7.1)
隅角部及び突当り部の役物の使用
※ 使用する（笠木本体製作所の仕様による。）

9. 手すり及びタラップ

(14.8.2) (14.8.3)

	材料の種別	表面処理の種別
手すり	・ ステンレスSUS304	HL仕上程度
	・ 鋼　製	亜鉛めっきの場合表14.2.2のＣ種
タラップ	ステンレスSUS304	外部HL仕上程度、内部No.2B仕上程度

10. 体育館の鋼製床下地材

※　JIS A 6519のJIS表示認証製品

⑲ 内装工事

⑪ 石こうボードその他ボード及び合板張り

(19.7.2～3) (表19.7.1) (表19.7.5)

種類又は記号	種別など	厚	さ (mm)	規格番号
けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板)0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁	・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430(タイプ2)
		天井	・ 6(不燃) ・ 12(不燃)	
グラスウール吸音ボード(吸音材料) ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品		25(不燃) [✓ 50(不燃)]	JIS A 6301(32K)
ロックウール化粧吸音板(吸音材料) ＤＲ	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	
せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｒ		壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	
シージングせっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｓ		壁	12.5(準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)	
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 色　※白 ・黄		9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｄ	木目模様	壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
	木目模様(裏桟付き) 特殊模様	天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	

せっこうボードの目地処理　※ 継目処理工法　・ 突き付けＶ目地工法
・ 突き付け工法　・ 目透し工法

12. 遮音シール材

・ アクリル系シーリング材　※ ジョイントコンパウンド (19.7.2)

13. 壁紙張り

(19.8.2)

施　工　箇　所	品　質	防　火　種　別
掲示板用壁紙	JIS A6921	・不燃　・準不燃　[✓ その他]
		・不燃　・準不燃　・その他
		・不燃　・準不燃　・その他
		・不燃　・準不燃　・その他

品質は参考商品名である。

⑭ 断　熱　材

断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19.9.2) (19.9.3)

種　類		箇　所	厚さ(mm)	備　考
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・Ａ種ビーズ法 ※Ａ種押出法２種ｂ		・ 25 ・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
※ 押出法ポリスチレンフォーム保温材（Ａ種）	・２種ｂ ・３種ｂ（スキン層あり）		※ 25 [✓ 図示]	
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※Ａ種 ・	・	・	
・ フェノールフォーム保温材	※Ａ種 ・	・	・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※Ａ種１ ・	[✓ 図示]	※ 20 [✓ 図示]	JIS A 9526による難燃性 ・２級　※３級

上記以外に用いる断熱材

種　類		箇　所	厚さ(mm)	備　考
・ ＪＩＳＡ発泡プラスチック保温材	・Ａ種ビーズ法 ※Ａ種押出法２種ｂ ※Ａ種押出法３種ｂ（スキン層あり）		※ 25	JIS表示認証製品
・ グラスウール保温材	※24Ｋ品		※ 50 ・図示	JIS表示認証製品
・ 吹込用グラスウール	※18Ｋ品 セルローズファイバー		※ 300 ・図示	

※　グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※ 被覆品　・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.1)張り　(重ね100)

⑳ ユニット及びその他の工事

⑬ カーテン

(20.2.14) (表20.2.1)

名称・品質など	ひだの種類	形　式	引分け装置
PVC糸入り 透明0.5mm 耐寒性	※箱ひだ、つまひだ [✓ ひだなし]	[✓ 片引き] ・引分け	※手引　・ひも引 ・電動

⑭ カーテンレール

(20.2.14)
材　質　※ ステンレス製　・ アルミニウム製
形　状　※ Ｄ型又は角型　・ Ｃ型

㉑ 排水工事

1. グレーチング　※ 鋼製　・ ステンレス製 (21.2.2)

2. 鋳鉄製マンホールふた　簡易密閉式とし，表面には用途別の標準文字付きとする。 (21.2.2)

③ 縁石及び側溝　地業の材料　[✓ 再生クラッシャラン]　・ (21.4.2)

㉒ 舗装工事

① 再生材　※ 使用する　・ 使用しない (22.1.3)

② 盛土材料　路床の盛土材料　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 (22.2.3)

③ 遮断層及び凍上抑制層用材料
遮断層　※ 川砂・海砂又は良質な山砂 (22.2.2) (22.2.3)
凍上抑制層　※ 再生クラッシャラン　・ 切込砂利又は切込砕石

④ 路床安定処理
路床安定処理添加材料 (22.2.2) (22.2.3) (表22.2.2)
※ 普通ポルトランドセメント　・ 高炉セメントＢ種
・ フライアッシュセメントＢ種
・ 生石灰（・特号　・１号）　・ 消石灰（・特号　・１号）

⑤ 砂の粒度試験　※ 行わない　・ 行う (22.2.3)

⑥ 路床土の支持力比(ＣＢＲ)試験　※ 行わない　・ 行う（※ 乱した土　・ 乱さない土） (22.2.5)

⑦ 路床の締固め度の試験　・ 行わない　※ 行う（箇所:埋戻し及び盛土部） (22.2.5)

⑧ 路盤材料 (22.3.3) (表22.3.2)
※ 再生クラッシャラン　ＲＣ－４０（透水性舗装の場合を除く）
・ クラッシャラン　Ｃ－４０
・ クラッシャランスラグ　ＣＳ－４０

9. 路盤の締固め度の試験　※ 行う (22.3.5)

⑩ アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.2) (22.4.4) (表22.4.5)

表　層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（１３） ・ 密粒度アスファルト混合物（１３） ・ 細粒度アスファルト混合物（１３） ・	舗装の厚さは図示による
基　層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（２０） ・ 粗粒度アスファルト混合物（２０） ・	・

舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする
アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う (22.4.6)

11. コンクリート舗装

早強セメント　・ 使用する　※ 使用しない (22.5.3)
溶接金網　※ あり　・ なし
コンクリート版の厚さの試験　・ 行う　※ 行わない (22.5.6)

12. カラー舗装

(22.6.2)

種　類		部　位	厚　さ(mm)
加熱系	※ アスファルト混合物	・ 車道部　・ 歩道部	図示による
	・ 石油樹脂系混合物	・ 車道部　・ 歩道部	
常温系	・ 樹脂系混合物	・ 車道部　・ 歩道部	５～１０
	・ ニート工法	・ 車道部　・ 歩道部	３～５
	・ 塗布工法	・ 車道部　・ 歩道部	１程度以下

着色骨材・自然石（　） (22.6.3)

⑬ ブロック系舗装

・ コンクリート平板舗装　※ 砂目地 (22.9.2) (表22.9.1)
・ モルタル目地
・ インターロッキングブロック舗装
・ 舗石舗装　基　層　※ コンクリート舗装　・ アスファルト舗装

⑭ 砂利敷き　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ (22.10.2)

15. 区画線　※ ＪＩＳＫ５６６５　３種１号
・

㉓ 植栽工事

1. 植栽地の確認等
透水性及び土壌硬度の確認　※ 行う　・ 行わない (23.1.3)
塩分量及び土壌の酸度の試験　・ 行う　※ 行わない

2. 植栽基盤

・ 適用する　※ 適用しない (23.2.2) (表23.2.2)

種　別	樹　種　等	植栽基盤の適用
・ Ａ種	樹木	・ 適用する　※ 適用しない
・ Ｂ種	芝、地被類木	※ 適用する　・ 適用しない
・ Ｃ種		
・ Ｄ種		

③ 植込み用土　※ 現場発生の良質土　・ 客土 (23.2.3)

4. 土壌改良材　※ 適用する　・ 適用しない (23.2.3)
土壌改良材は，植栽を行う植込等の面積１㎡当たり，バーク堆肥の場合は５０リットル，発酵下水汚泥コンポストの場合は１０リットルとする。

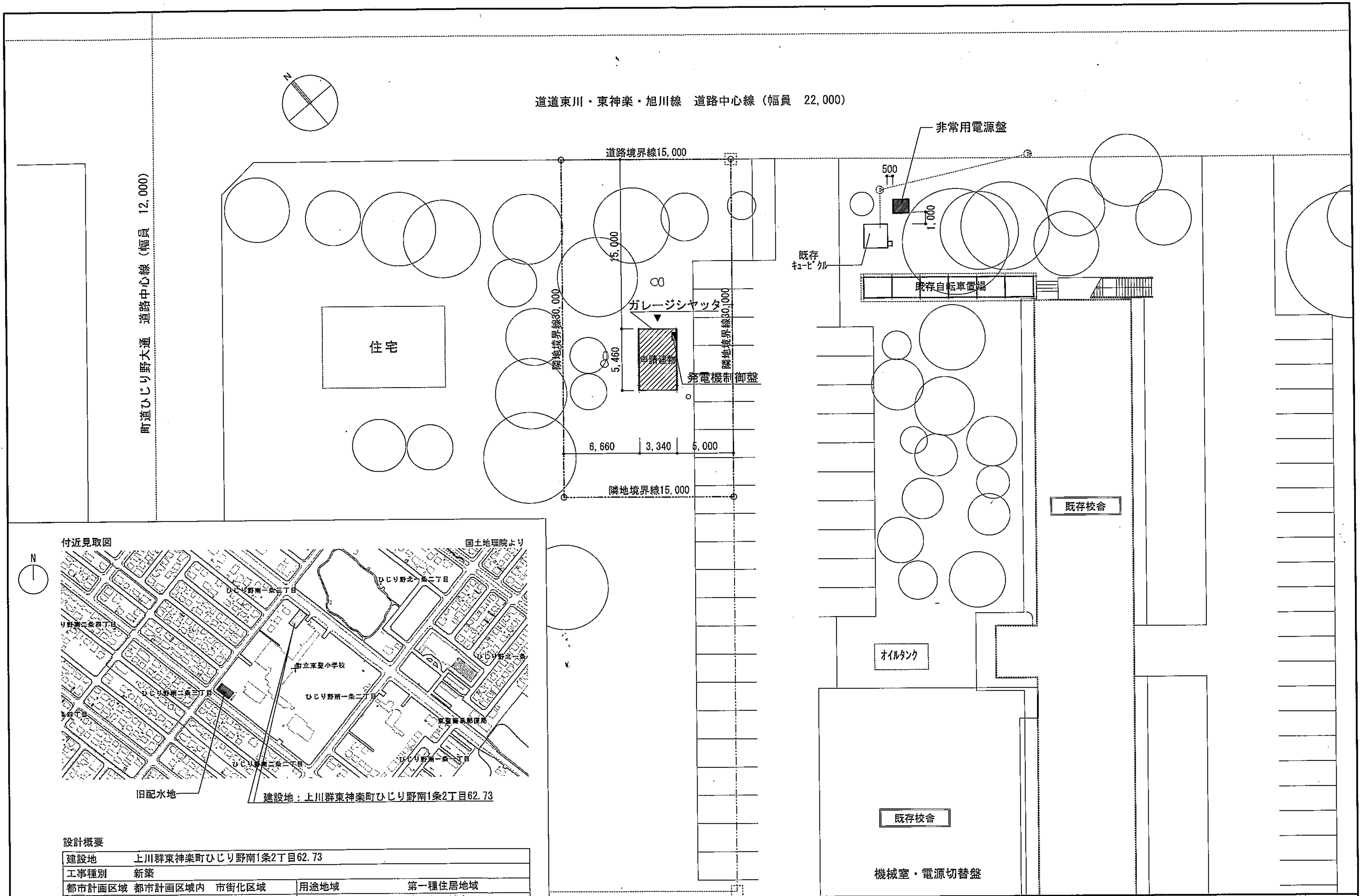
⑤ 芝　種　別　※ こうらい芝の類　[✓ 野芝の類] (23.4.2)

6. 屋上緑化

(23.5.2) (23.5.3)

工　法	土壌層厚さ	保水・排水層
・ 屋上緑化システム	・ 6cm ・ 12cm ・ 30cm	・ 適用する 材質（・ 軽量骨材 ・ 板状成形品） ・ 適用しない
・ 屋上緑化軽量システム	※ システム製作所の仕様による	

一級建築士事務所　北海道知事登録(上)204号 株式会社 創明建築設計事務所 〒070-0038　旭川市8条通17丁目右1号 Tel:0166-21-6886　Fax:0166-21-6887	管理建築士 一級建築士登録 143974号 三嶋 幸利	担当建築士 一級建築士登録 273215号 佐藤 真一	縮尺 用紙サイズ A－1 － A－2 A－3 －	検図	設計担当 Sato	製図訂正 Sato	年月日 2015.10.15	工事名 東聖小学校非常用発電機設置工事 図面名 特記仕様書2	図面番号 D － 2

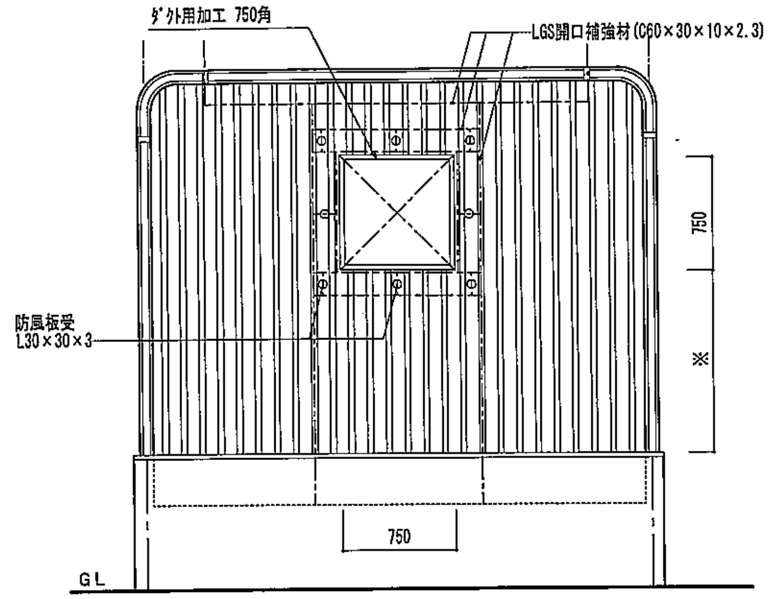

N
道道東川・東神楽・旭川線　道路中心線（幅員　22,000）
町道ひじり野大通　道路中心線（幅員　12,000）
道路境界線15,000
隣地境界線30,000
隣地境界線30,000
隣地境界線15,000
15,000
5,460
6,660
3,340
5,000
住宅
ガレージシャッター
申請建物
発電機制御盤
非常用電源盤
500
1,000
既存
キュービクル
既存自転車置場
既存校舎
オイルタンク
既存校舎
機械室・電源切替盤
付近見取図
国土地理院より
N
ひじり野南一条三丁目
ひじり野北一条二丁目
ひじり野南二条四丁目
町立東聖小学校
ひじり野南一条二丁目
ひじり野南二条三丁目
ひじり野北一条
東聖簡易郵便局
ひじり野南二条二丁目
ひじり野南一条一丁目
旧配水地

建設地：上川群東神楽町ひじり野南1条2丁目62.73

設計概要

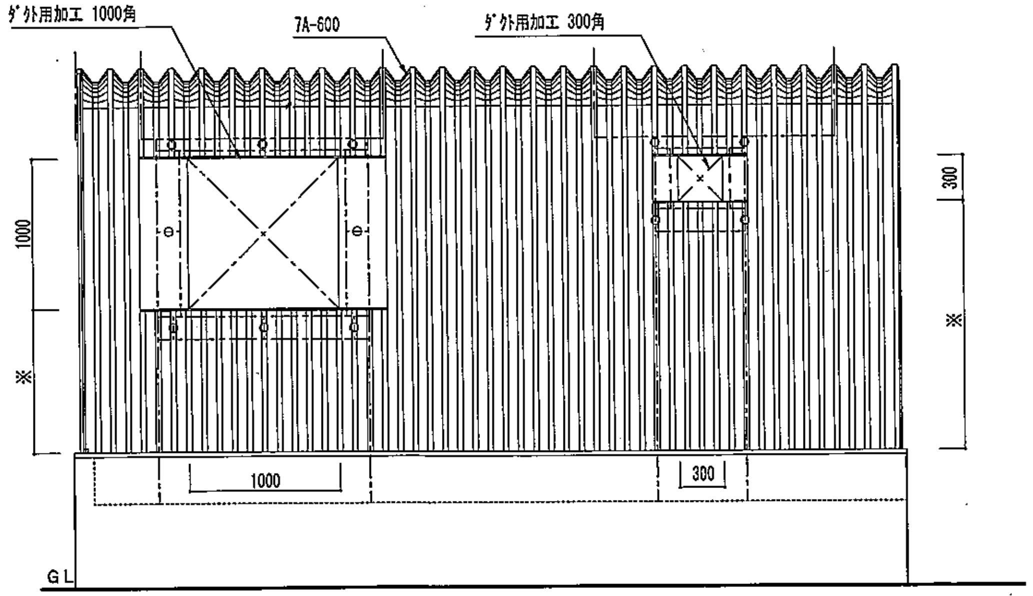
建設地	上川群東神楽町ひじり野南1条2丁目62.73		
工事種別	新築		
都市計画区域	都市計画区域内　市街化区域	用途地域	第一種住居地域
防火指定	指定なし	その他指定	法22条区域内
敷地面積	450.00m2	建築面積・延床面積	18.23m2
建ぺい率	60.00%>4.06%	容積率	200.00%>4.06%

一級建築士事務所　北海道知事登録(上)204号 株式会社 創明建築設計事務所 〒070-0038　旭川市8条通17丁目右1号 Tel:0166-21-8888　Fax:0166-21-8887	管理建築士 一級建築士登録 143974号 三嶋 幸利	担当建築士 一級建築士登録 273215号 佐藤 真一	縮尺 用紙サイズ A－1 1/150 A－2 A－3 1/300	検図	設計担当 Sato	製図訂正 Sato	年月日 2015.10.15	工事名 東聖小学校非常用発電機設置工事 図面名 配置図・付近見取図	図面番号 D － 3

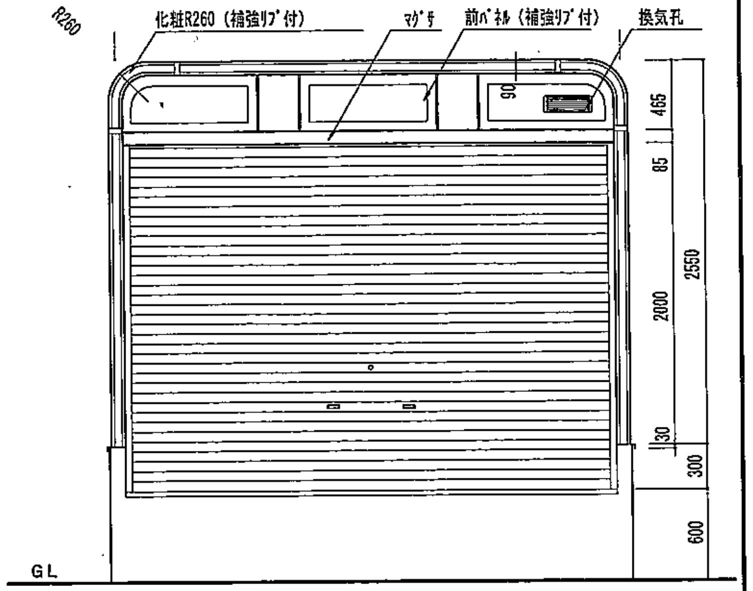

ﾀﾞｸﾄ用加工 750角
LGS開口補強材(C60×30×10×2.3)
防風板受
L30×30×3
750
※
750
GL

南西立面図

※印の寸法は設備と打合せによる。


ﾀﾞｸﾄ用加工 1000角
7A-600
ﾀﾞｸﾄ用加工 300角
1000
※
300
※
1000
300
GL

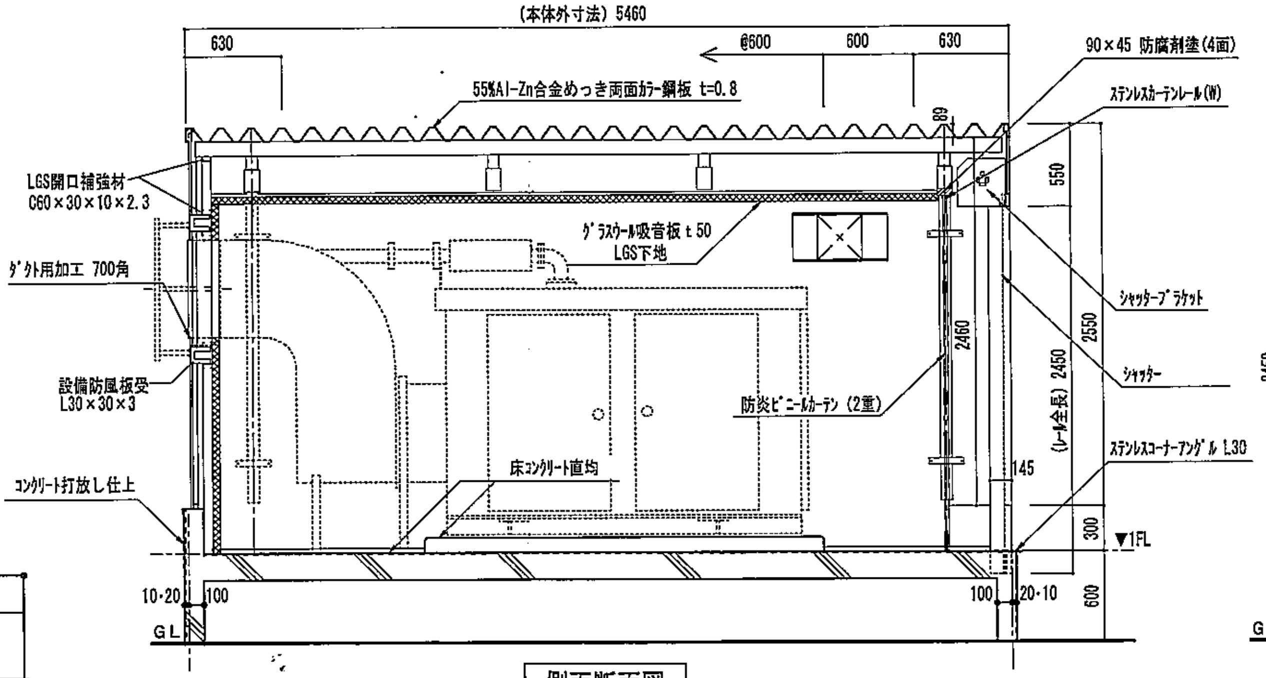
南東立面図


R260
化粧R260（補強ﾘﾌﾞ付）
ﾏｸﾞﾁ
前ﾊﾟﾈﾙ（補強ﾘﾌﾞ付）
換気孔
90
465
85
2550
2000
30
300
600
GL

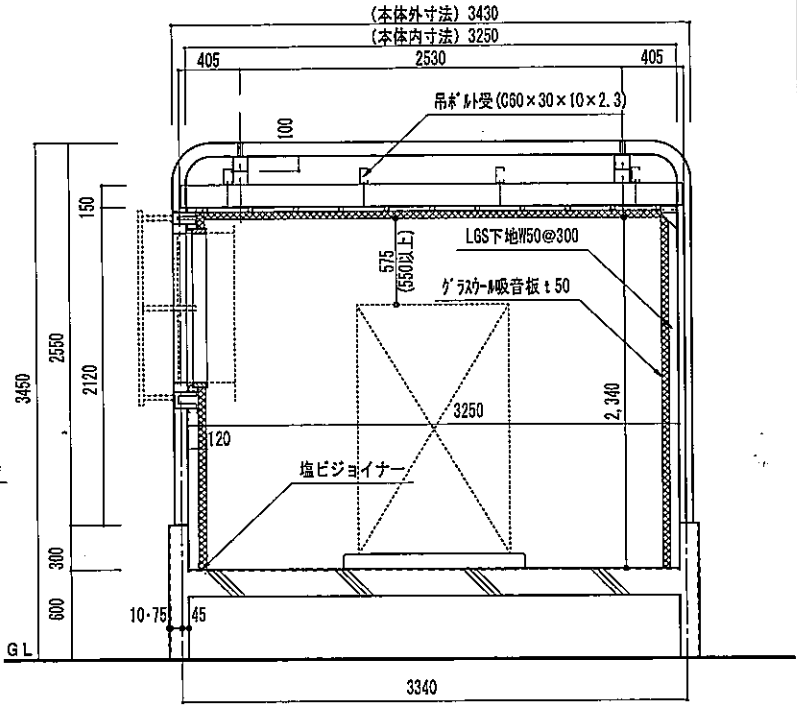
北東立面図

部　材　表		既製品ｶﾞﾚｰｼﾞ（特注加工品）　積雪荷重450kg/m2対応品
7A-600		55%Al-Zn合金めっき両面ｶﾗｰ鋼板 t=0.8
後壁	ニッコーNK15R	55%Al-Zn合金めっき両面ｶﾗｰ鋼板 t=0.8
	下地	L-30×30×3.2
シャッター		亜鉛めっき片面ｶﾗｰ鋼板 t=0.5
ベース面戸		ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.27
化粧枠		55%Al-Zn合金めっき両面ｶﾗｰ鋼板 t=0.8 （補強ﾘﾌﾞ付）
カスケード化粧R		55%Al-Zn合金めっき両面ｶﾗｰ鋼板 t=0.8 （補強ﾘﾌﾞ付）
前パネル		55%Al-Zn合金めっき両面ｶﾗｰ鋼板 t=0.8 （補強ﾘﾌﾞ付）
シャッター化粧窓		PC樹脂製
換気孔		Nikko開閉式ABS樹脂製換気孔　318×110
水切りベース		ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=1.8
L字カバー、ボルトキャップ、小口カバー、化粧枠ジョイントカバー　：　PE樹脂製　標準樹脂材　（ｾｰﾌﾃｨﾌﾟﾗﾝ）		

※ﾀﾞｸﾄ用加工はﾒｰｶｰ仕様とする

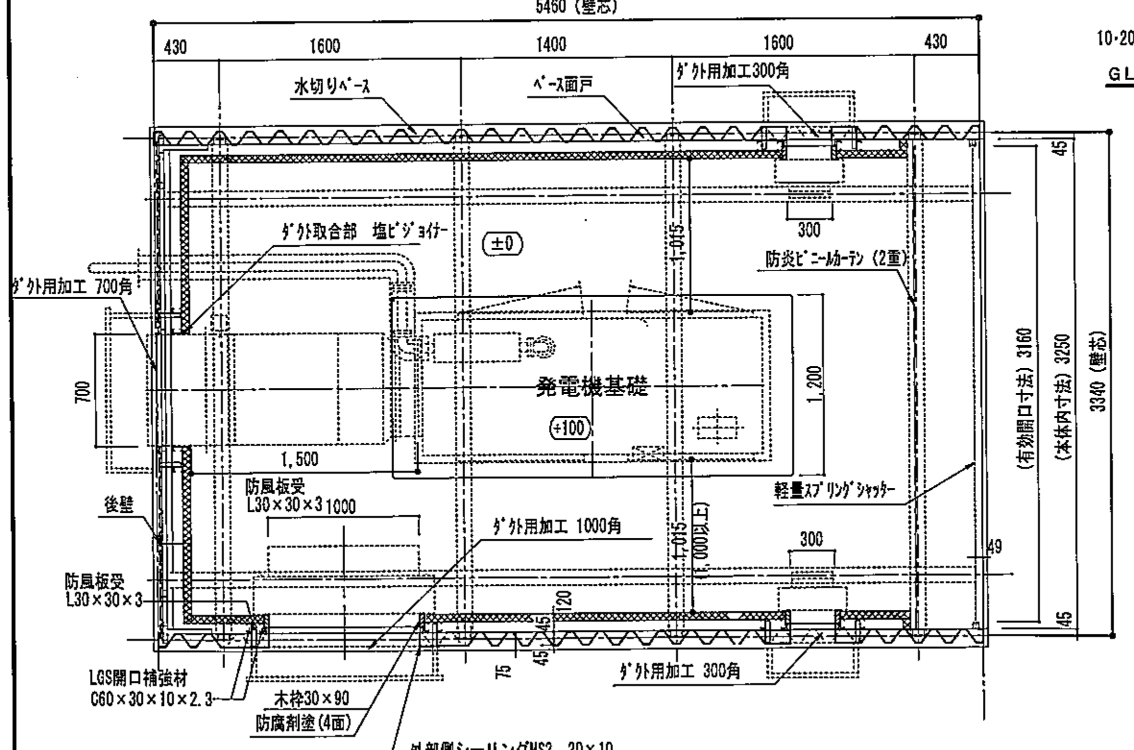

（本体外寸法）5460
630
@600
600
630
90×45 防腐剤塗(4面)
55%Al-Zn合金めっき両面ｶﾗｰ鋼板 t=0.8
ｽﾃﾝﾚｽｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)
LGS開口補強材
C60×30×10×2.3
ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音板 t50
LGS下地
ﾀﾞｸﾄ用加工 700角
ｼｬｯﾀｰﾌﾞﾗｹｯﾄ
ｼｬｯﾀｰ
設備防風板受
L30×30×3
防炎ﾋﾞﾆｰﾙｶｰﾃﾝ（2重）
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均
ｽﾃﾝﾚｽｺｰﾅｰｱﾝｸﾞﾙ L30
ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上
550
2460
2550
(ﾚｰﾙ全長) 2450
145
300
▼1FL
600
89
10・20
100
100
20・10
GL

側面断面図


（本体外寸法）3430
（本体内寸法）3250
405
2530
405
吊ﾎﾞﾙﾄ受(C60×30×10×2.3)
100
LGS下地W50@300
ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音板 t50
575
(550以上)
150
2550
2120
3450
2,340
3250
120
塩ﾋﾞｼﾞｮｲﾅｰ
300
600
10・75
45
3340
GL

正面断面図

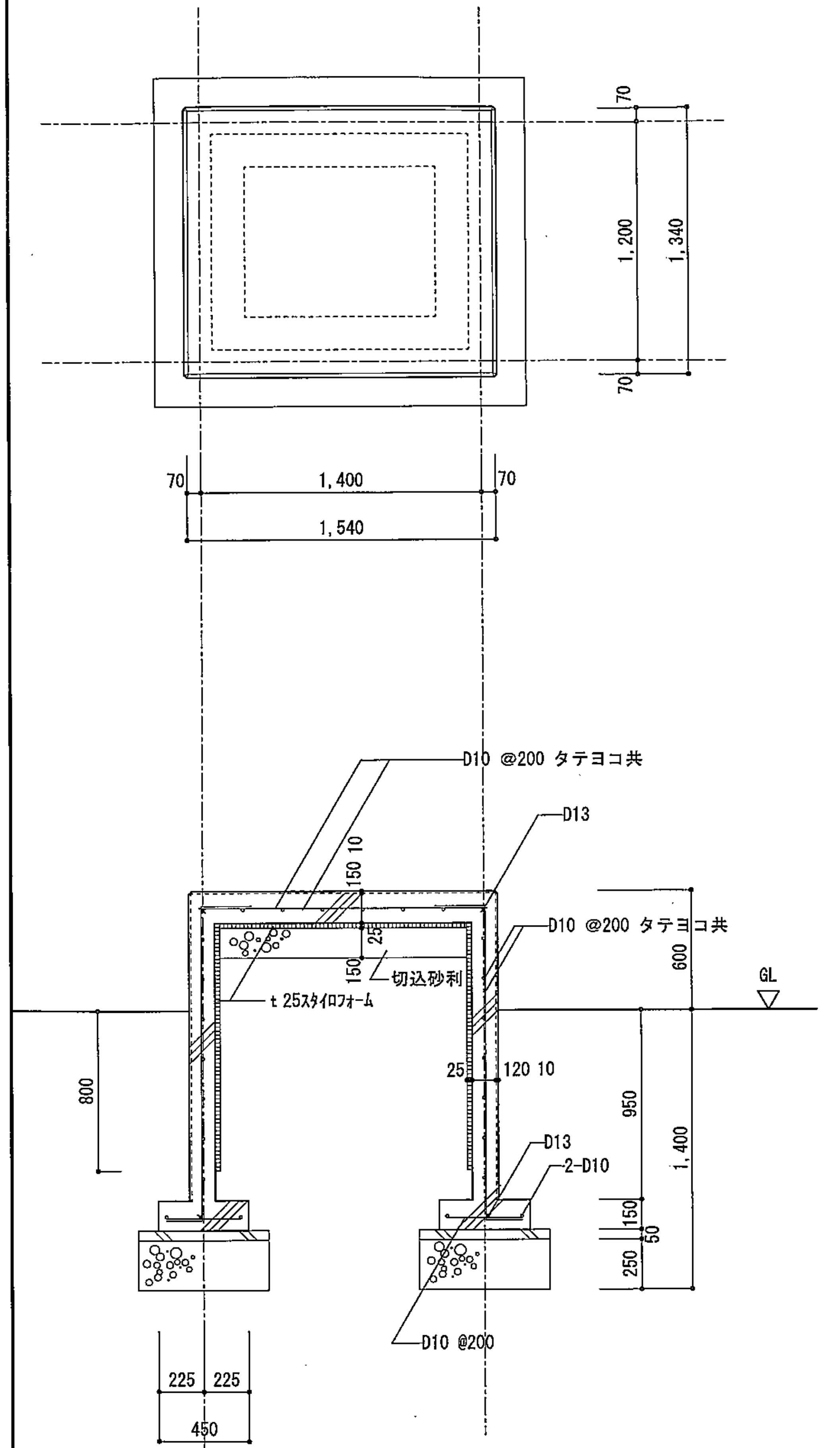
床面積　5.46×3.34=18.2364m2


5460（壁芯）
430
1600
1400
1600
430
水切りﾍﾞｰｽ
ﾍﾞｰｽ面戸
ﾀﾞｸﾄ用加工300角
300
ﾀﾞｸﾄ取合部　塩ﾋﾞｼﾞｮｲﾅｰ
(±0)
1,015
防炎ﾋﾞﾆｰﾙｶｰﾃﾝ（2重）
ﾀﾞｸﾄ用加工 700角
700
発電機基礎
(+100)
1,200
1,500
軽量ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｼｬｯﾀｰ
後壁
防風板受
L30×30×3
1000
ﾀﾞｸﾄ用加工 1000角
1,015
(1,000以上)
300
防風板受
L30×30×3
120
45
75
45
ﾀﾞｸﾄ用加工 300角
45
(有効開口寸法) 3160
(本体内寸法) 3250
3340（壁芯）
49
45
LGS開口補強材
C60×30×10×2.3
木枠30×90
防腐剤塗(4面)
外部側シーリングMS2　20×10
(各開口部廻り共通)

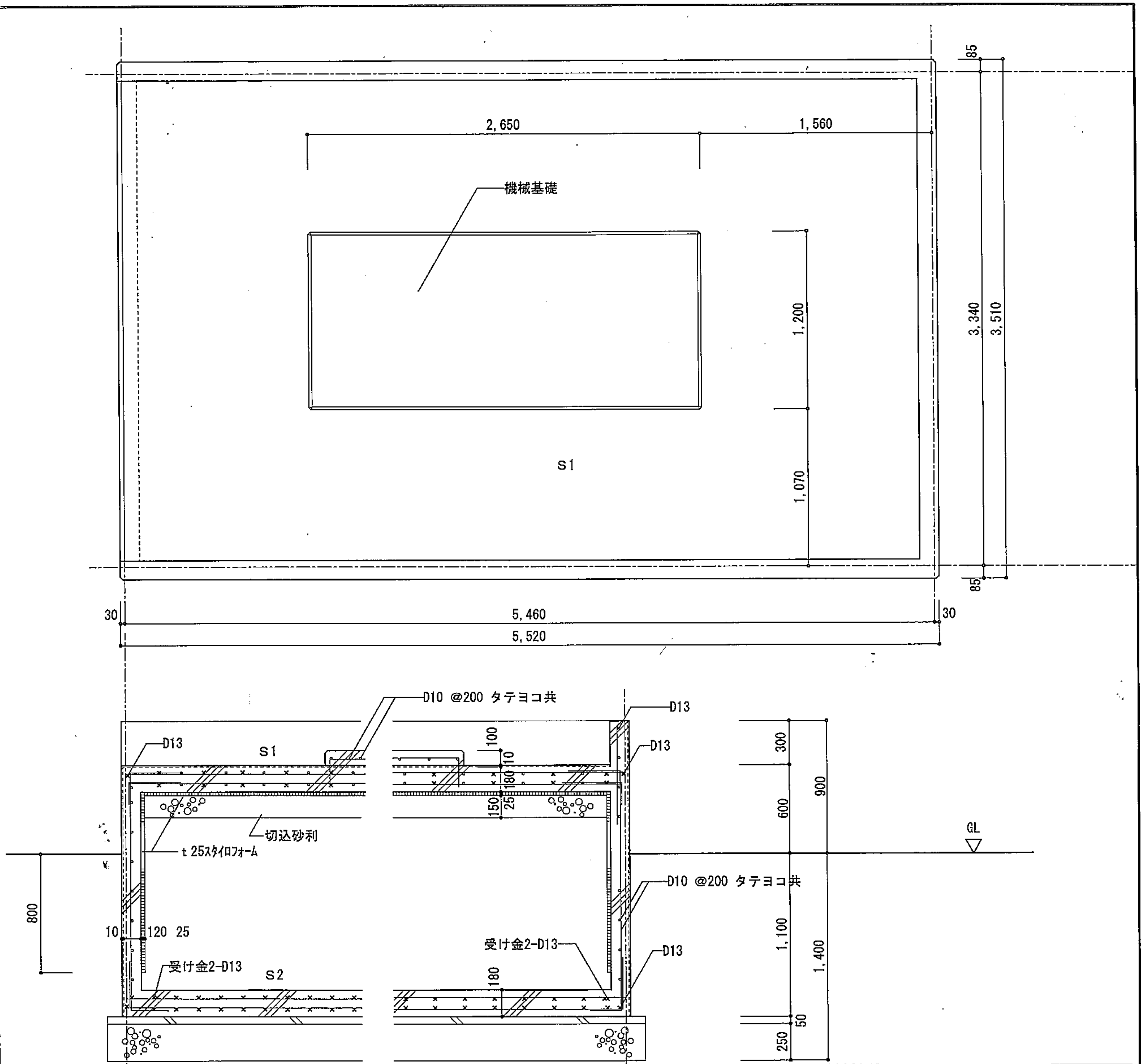
平面図

一級建築士事務所　北海道知事登録(上)204号
株式会社 創明建築設計事務所
〒070-0036　旭川市6条通17丁目右1号
Tel:0166-21-8886　Fax:0166-21-8887

管理建築士	担当建築士	縮尺		検図	設計担当	製図訂正	年月日	工事名	図面番号
一級建築士登録 143974号 三嶋 幸利	一級建築士登録 273215号 佐藤 真一	用紙サイズ A−1	1/25		Sato	Sato	2015.10.15	東聖小学校非常用発電機設置工事	D − 4
		A−2						図面名	
		A−3	1/50					ガレージ一式	


70
1,200
1,340
70
70
1,400
70
1,540
D10 @200 タテヨコ共
D13
150 10
25
D10 @200 タテヨコ共
150
150
切込砂利
t 25スタイロフォーム
600
GL
800
25
120 10
950
1,400
D13
2-D10
150
50
250
D10 @200
225 225
450

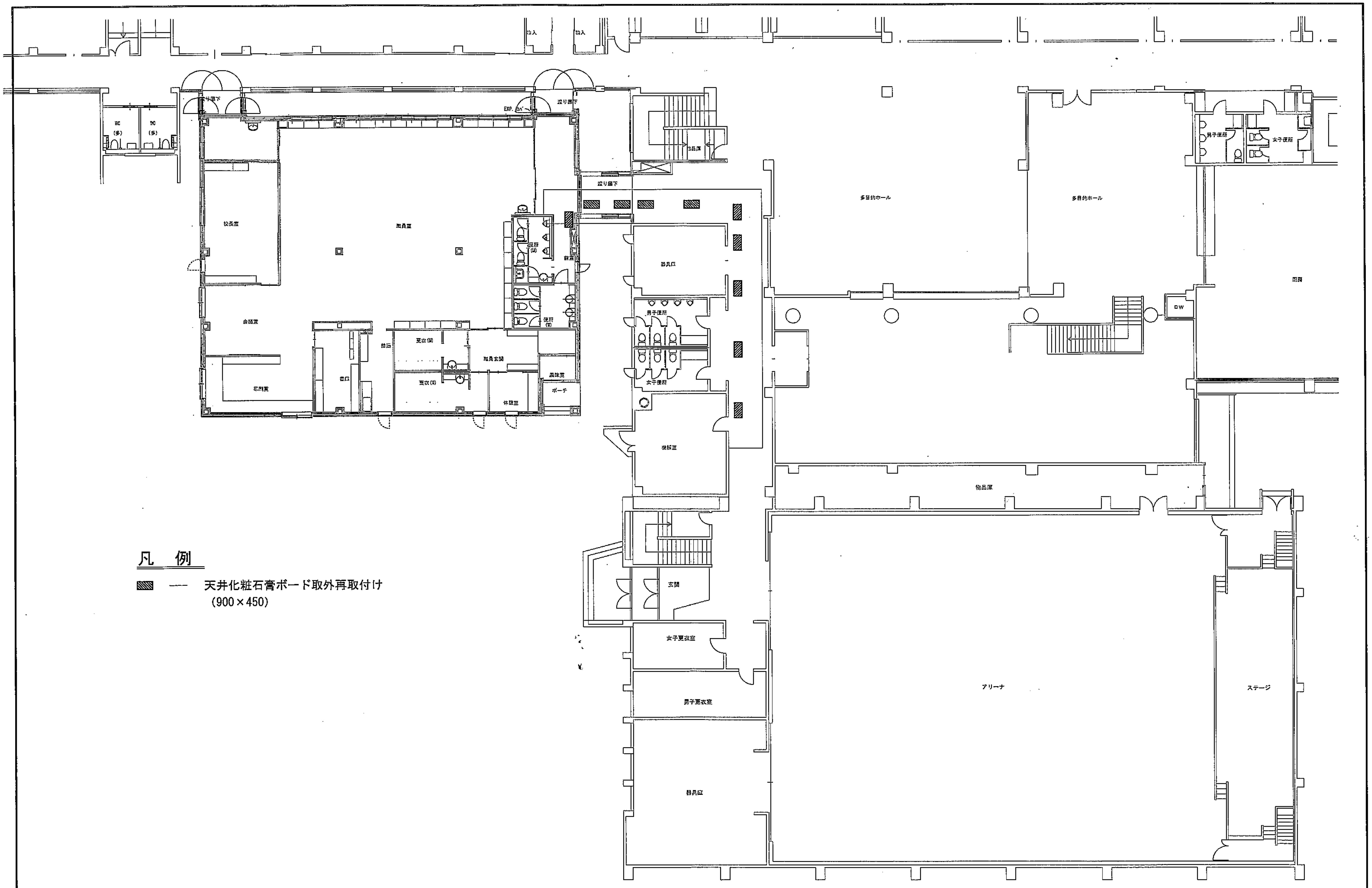
切替盤基礎詳細図 1/30


85
2,650
1,560
機械基礎
1,200
3,340
3,510
S1
1,070
85
30
5,460
30
5,520
D10 @200 タテヨコ共
D13
D13
S1
100
10
180
150
25
D13
切込砂利
t 25スタイロフォーム
300
600
900
GL
800
D10 @200 タテヨコ共
10
120 25
1,100
1,400
受け金2-D13
受け金2-D13
D13
S2
180
50
250

記号	ｽﾗﾌﾞ厚	配筋	短辺方向	長辺方向
S1	180	上端筋	D10、D13@150	D10、D13@200
		下端筋	D10、D13@150	D10、D13@200
S2	180	上端筋	D13@150	D13@200
		下端筋	D13@150	D13@200

発電機室基礎詳細図 1/30

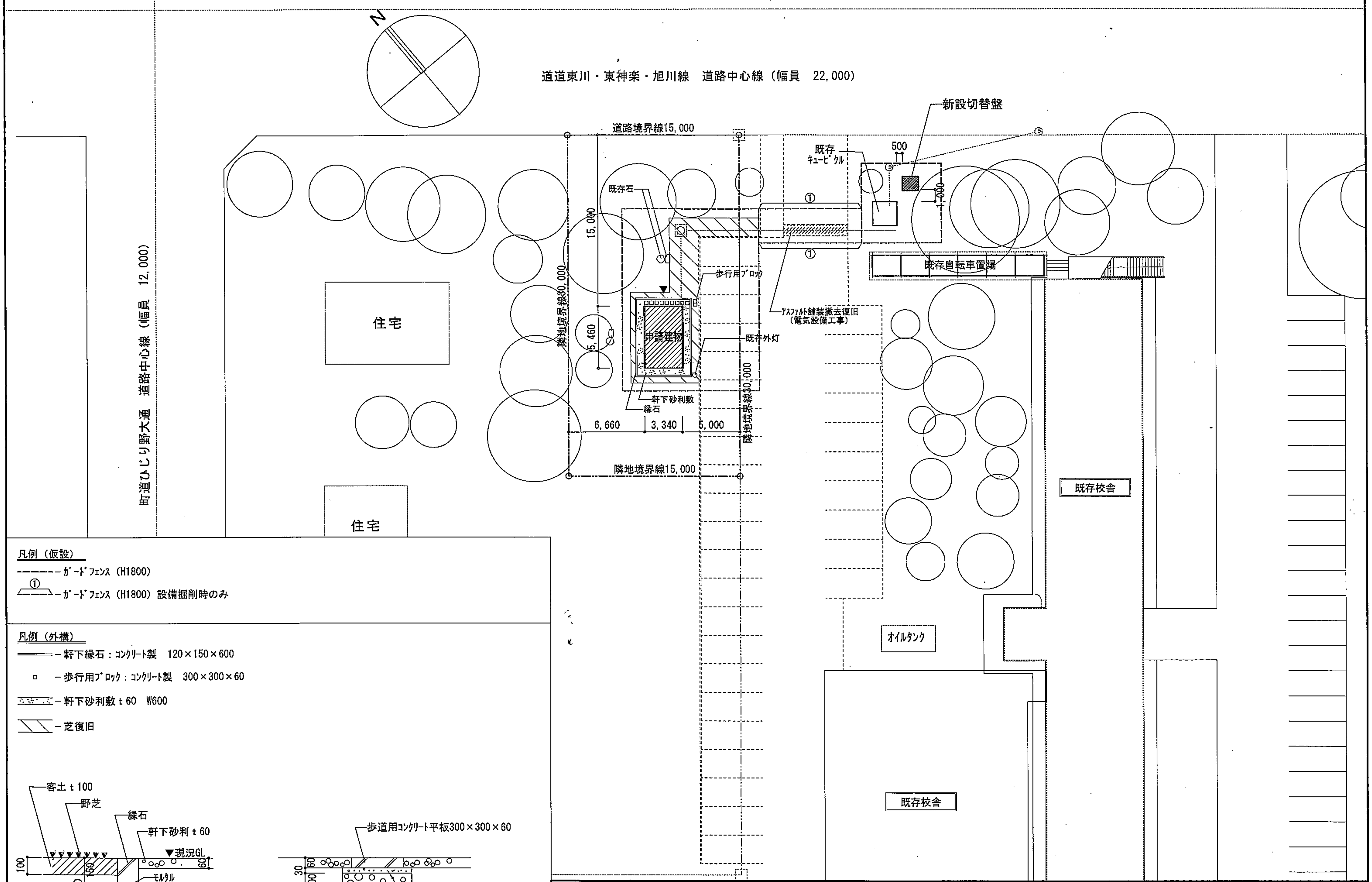
一級建築士事務所 北海道知事登録(上)204号 株式会社 創明建築設計事務所 〒070-0038 旭川市8条通17丁目右1号 Tel:0166-21-8888 Fax:0166-21-8887	管理建築士 一級建築士登録 143974号 三嶋 幸利	担当建築士 一級建築士登録 273215号 佐藤 真一	縮尺 用紙サイズ A－1 A－2 A－3 1/30	検図	設計担当 Sato	製図訂正 Takai	年月日 2015.10.15	工事名 東聖小学校非常用発電機設置工事 図面名 各基礎詳細図	図面番号 D － 4


物入
物入
WC
(多)
WC
(多)
渡り廊下
EXP.カバー
渡り廊下
渡り廊下
校長室
職員室
便所
(男)
前室
便所
(女)
会議室
給湯
更衣(男)
更衣(女)
職員玄関
風除室
ポーチ
倉庫
印刷室
休憩室
倉品庫
器具庫
男子便所
女子便所
機械室
多目的ホール
多目的ホール
男子便所
女子便所
厨房
DW
物品庫
玄関
女子更衣室
男子更衣室
器具庫
アリーナ
ステージ

凡　例

▨ ―― 天井化粧石膏ボード取外再取付け
(900×450)

一級建築士事務所 北海道知事登録(上)204号	管理建築士	担当建築士	縮尺		検図	設計担当	製図訂正	年月日	工事名	図面番号
株式会社 創明建築設計事務所	一級建築士登録 143974号	一級建築士登録 273215号	用紙サイズ A−1	1/200		Sato	Sato	2015.10.15	東聖小学校非常用発電機設置工事	D −6
〒070-0038 旭川市8条通17丁目右1号 Tel:0166-21-6885 Fax:0166-21-8887	三嶋 幸利	佐藤 真一	A−2						図面名 1階　天井改修図(校舎棟)	
			A−3	1/400						


N
道道東川・東神楽・旭川線　道路中心線（幅員　22,000）
新設切替盤
道路境界線15,000
500
既存
キュービクル
1,000
既存石
①
①
15,000
歩行用ブロック
既存自転車置場
アスファルト舗装撤去復旧
（電気設備工事）
隣地境界線30,000
5,460
申請建物
既存外灯
隣地境界線30,000
軒下砂利敷
縁石
6,660
3,340
5,000
隣地境界線15,000
住宅
住宅
町道ひじり野大通　道路中心線（幅員　12,000）
既存校舎
オイルタンク
既存校舎
客土 t 100
野芝
縁石
軒下砂利 t 60
▼現況GL
100
150
60
10
50
100
モルタル
捨てコン
切込砂利
220
歩道用コンクリート平板300×300×60
30
60
100
空練りモルタル
再生クラッシャラン

凡例（仮設）

- - - - - – ガードフェンス（H1800）

① – ガードフェンス（H1800）設備掘削時のみ

凡例（外構）

═ – 軒下縁石：コンクリート製　120×150×600

□ – 歩行用ブロック：コンクリート製　300×300×60

▨ – 軒下砂利敷 t 60　W600

▨ – 芝復旧

一級建築士事務所　北海道知事登録(上)204号
株式会社 創明建築設計事務所
〒070-0036　旭川市6条通17丁目右1号
Tel:0166-21-8886　Fax:0166-21-8887

管理建築士	担当建築士	縮尺	検図	設計担当	製図訂正	年月日	工事名	図面番号
一級建築士登録 143974号 三嶋　幸利	一級建築士登録 273215号 佐藤　真一	用紙サイズ A－1 1/150 A－2 A－3 1/300		Sato	Sato	2015. 10. 15	東聖小学校非常用発電機設置工事 図面名 外構図・仮設計画図	D － 7

Ⅰ. 工事概要

A. 工事場所　上川郡東神楽町ひじり野南1条2丁目

B. 建物概要

名称	構造・種目	数量	単位
小学校	鉄筋コンクリート造・鉄骨造		㎡

C. 工事項目　※ 選択項目は●印を適用とし、○印は適用しない。

電力設備工事	通信情報設備工事	
●電灯設備	○電話設備	○自動火災報知設備
○防災照明設備	○構内交換設備	○自動閉鎖設備
○電化設備	○拡声設備	○ガス漏れ警報設備
○電気温水器設備	○映像音響設備	○非常警報設備
○電気暖房設備	○呼出設備	○防災警報設備
○電熱設備	○誘導支援設備	
○ロードヒーティング設備	○緊急通報設備	
●動力設備	○ナースコール設備	
●幹線設備	○テレビ共同受信設備	
○受変電設備	○電気時計設備	
●発電設備	○情報表示設備	
○静止型電源設備	○情報通信網設備	
○雷保護設備	○防犯入退室管理設備	
○外灯設備	○警備用配管設備	
●構内配電線路設備	○テレビ電波障害防除設備	
	○構内通信線路設備	

Ⅱ. 工事仕様

A. 適用規準

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修電気設備工事共通仕様書（最新版）及び電気設備工事標準図（最新版）による。
2. 特記仕様書の各事項における選択項目は●印を適用とし、○印は適用しない。

B. 一般共通事項

1. 機材及び製造所等	・本工事の使用材料・製造所・商品は記載されたものとする。 尚、同等品以上及び級の記載がある場合で記載された以外のものを使用する場合は資料等を提出し監督員の承諾を受ける。 また、（社）公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出するものとする。
2. 特殊な材料の工法	・共通仕様書に記載されていない特殊な材料の工法は監督員の承諾を受けて当該製品の指定工法による。
3. 電気工作物の種類	○一般用電気工作物　○事業用電気工作物
4. 技能士	・本工事の主要な部分は技能士に施工させること。　又、その他の部分についても技能士に施工させるように努めること。　○1級　○2級
5. 主任技術者	・資格　1級電気工事施工管理技師　現場常駐　○する　●しない
6. 現場代理人	・資格　1級電気工事施工管理技師　現場常駐　○する　●しない
7. 交通安全及び公害防止	・請負者は工事の施工にあたり関係法令に従って交通事故防止、交通路線の維持保全、騒音公害防止等に努めなければならない。
8. 工事写真	・工程写真及び完成写真は北海道建設部建築整備室監修営繕工事記録写真撮影要領による。 ・竣工写真：1部
9. 完成図の作成	●　A3　版2つ折製本　2　部 ○　　版折込製本　部 ●　A4　版縮小図2つ折製本　2　部　（縮小原図共） ○マイクロフィルム　部 ●キャドデータ及び原図訂正のうえ提出とする。
10. 施工計画書等の提出	・施工に先立ち、工事工程表、施工計画書等を作成し監督員の承諾を受ける。
11. 工事標識等	・監督員の指示により遅滞なく指示する。
12. 提出書類等	・監督員の指示により遅滞なく提出する。
13. 工事用電力、水等 諸手続、費用	・本工事に必要な工事用電力、水等の費用は請負人の負担とする。 本工事の施工や撤去に必要な官公署、電力会社、電話会社、その他関係機関への手続きは全て請負人が代行し速やかに行い、費用は全て請負者の負担とする。
14. 工事用仮設物	全て請負者の負担とする。
15. 足場、さん橋類	別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。
16. 残土処理	○埋戻し後の建設残土は、監督員が指定する構内の場所に敷きならしとする。 ○埋戻し後の建設残土は、構外搬出とし搬出及びその処理費は別途とする。
17. プレート	○樹脂製（○モダン　○樹れい）　●アルミ製　○ステンレス製　○絶縁枠付 ○住戸内は樹脂製とし、その他の場所はアルミ製とする。 ○ワイド型配線器具用は全て樹脂製とする。
18. 結露防止	・外部に面する壁面及び天井面に取付ける盤及び位置ボックスは裏面にSP板又は、SF板（厚25mm以上）を取付けて結露防止とする。
19. 接地極	・A種用、B種用、C種用、避雷用は全て銅板900x900x1.5tとし、D種用は銅棒14φx1500L以上とする。
20. 接地極埋設標	・黄銅板（140x90x1.5t）とし、表示板の文字は腐蝕字記とする。
21. 参考図	・図中参考図の姿及び寸法は概略寸法とする。
22. 防火区画等の貫通	・防火区画及び防火上主要な間仕切壁を貫通する配管、配線、ケーブルラック等がある場合は、適合防火区画貫通処理を施すこと。
23. 電線管	・図中、図示記号の（19），（25），（31），（39），（51），（63）（75）はねじなし電線管とし、（16），（22），（28）は合成樹脂可とう電線管（OPFS管　OPFD管　OCD管）とする。 ・機械室等の床配管は図面上合成樹脂可とう電線管で記載している場合であっても、立上げ等の露出配管部分は金属管とする。 ・住宅性能評価を受けるヒートブリッジ部分は断熱補強を行うこと。
24. 呼び線	・長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上のビニール被覆鉄線を挿入とする。
25. 電線及び電線保護物類	●隠ぺい配線において壁類（○間仕切が木造部分は除く）の立上げ引下げ部分及び造営材貫通部分は次の適合電線保護物類により配線保護とする。 OEP（防火区画壁、防火上主要な間仕切り壁）　●PF管　OCD管 ●露出配線において壁類及び機器類の立上げ引下げ部分は次の適合電線保護物類により配線保護とする。 ・屋内は次による。 ●EP　OPF管　OPEG　OGZ（内外面溶融亜鉛メッキ鋼管） ○金属線び　（○図中記号（★）印箇所のみ　○全部） ○合成樹脂線び（○図中文字記号（PM）箇所のみ　○全部） ・屋外は次による。 OEP　OPF管　OPEG　●GZ（内外面溶融亜鉛メッキ鋼管） ・電線及びケーブルは全てエコ電線及びエコケーブルを使用とする。 ・図中太さ、条数及び電線管径のないものは凡例による。
26. 位置ボックス及びジョイントボックス	・次により運用するもの以外は、共通仕様書の「位置ボックス、ジョイントボックス等」による。 ○二重天井内のケーブル接続箇所は、VVF用ジョイントボックス（大）とする。 ○露出部分は適合金属線びボックス（○図中記号（★）印箇所のみ　○全部）とする。 ・材質は次による。 ○金属製（○天井引掛シーリング部分　○露出部分　○埋込部分 ○防火区画等間仕切り壁埋込部分） ●硬質塩化ビニール製（●壁部分　○露出部分　●埋込部分） ○外壁の屋内に取付ける位置ボックスは、全て防気カバー取付けとする。
27. プルボックス	・図中特記なきものは、鋼板製錆止め塗装とする。
28. コンセント	・電気機械器具用のコンセントの種類及び極配置は監督員と打合わせを行い選定とする。
29. 請負者の負担	・設計図及び特記仕様書に記載なき事項といえども機能上当然必要と思われるものは、請負者の負担において完全に施工すること。 ・本工事の区分及び工事内容について疑義がある場合は、速やかに監督員と打合せを行うと共に、改修工事に伴い発生する不測の状況については、監督員と協議の上適切なる処置を講じ、工事を迅速に進めること。
30. 盤類の仕様	●国土交通省型　○製造者標準型
31. 既設の電気機材	・図中（（　　））内のものとする。
32. その他	・図示のメーカーは参考とし新製品のある物は全て新製品とする。
33. 発生材の処理	（1）引渡しを要するもの　●無し　○有り（　　　　） （2）特別管理産業廃棄物　●無し　○有り（　　　　） （3）建設廃棄物の処理は次の通りとするほか「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令に従い適切に処理する。 尚、建設廃棄物の収集・運搬は産業廃棄物処理業の許可を受けたものとする。 建設廃棄物の種類ごとに選別　（●選別する。　○選別しない。） ●金属くず　○ガラス類　○プラスチック類 場所：
34. 断熱枠	・埋込型照明器具に断熱材が覆い被さるものは、断熱枠取付けとする。
35. 吊りボルト	・床下ピット内はステンレス製とし、その他の部分は鉄製全ネジボルトとする。
36. 再使用機材	●無し　○有り（原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後、取付けとする。 但し、絶縁劣化等により使用不能な機材においては、監督員に報告とする。）
37. 工事実績情報の登録	・請負者は工事実績情報システム（CORINS）に基づき「工事カルテ」を作成し、工事監督員の確認を受けた後に、（財）日本建築情報総合センターにフロッピーディスクにより提出すると共に、同センター発行の「工事カルテ受領書の写しを工事監督員に提出する事。 （対象工事：500万円以上の全工事）

38. 耐震施工

・設備機器の固定は、建設大臣官庁営繕部監修官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成8年版）による。尚、設計用水平地震力は、次に示す設計用標準水平震度に機器の重量を乗じたものとする。また、設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1／2とする。

局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階屋上及び塔屋	2.0 （2.0）	1.5 （2.0）	1.5 （2.0）	1.0 （1.5）
中間階	1.5 （1.5）	1.0 （1.5）	1.0 （1.5）	0.6 （1.0）
1階及び地下階	1.0 （1.0）	0.6 （1.0）	0.6 （1.0）	0.4 （0.6）

注）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

・重要機器

○配電盤　○自家発電装置　○UPS装置　○直流電源装置

○交換機　○中央監視装置　○複合防災盤

・上層階の定義

6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階。

・中間階の定義

地下階、1階を除く各階で上層階に該当しない階。

・特定の施設

a）災害応急対策活動に必要な施設。

b）避難所として位置づけられた施設。

c）人命及び物品の安全性確保が特に必要な施設。

C. 塗装工事（一般）

項目	塗装箇所 材料	塗装箇所 状態	塗料の種類	塗り回数	備考
1. 鉄面及び木部の塗装	金属製位置ボックス類	露出	調合ペイント	2	内面は除く
		隠ぺい	調合ペイント又はさび止ペイント	1	めっき又は塗装のはがれた部分及び内面に限る
	金属製ダクト プルボックス	露出	調合ペイント	2	内面は除く
		隠ぺい	さび止ペイント	1	塗装のはがれた部分
	金属管	露出	調合ペイント	2	
		隠ぺい	さび止ペイント	2	めっき又は塗装のはがれた部分に限る 尚、コンクリート埋込部分は不要とする。
	支持金物 架台など	露出	調合ペイント アルミニュウムペイント	2	下塗りはさび止めペイント（2回）
		隠ぺい	さび止ペイント	2	
	木部	露出	調合ペイント	3	
		隠ぺい	調合ペイント	2	

項目	塗装箇所の状態	塗料の種類	塗り回数	備考
2. 亜鉛メッキ部の塗装	屋内の露出部	調合ペイント	2	見えがかり部
	屋外の露出部	調合ペイント	2	下塗りはさび止めペイント
3. ポリエチレン部及びビニール部の塗装	屋内の露出部	ラッカー系塗料	2	
	屋外の露出部	ラッカー系塗料	2	

4. 錆止めペイント	（1）鉄面：鉛丹さび止めペイント（A種　JISK5622） （2）亜鉛めっき面：ジンククロメートさび止めペイント（JIS K5627 2種 A）
5. 合成樹脂線び、金属線びの色指定	・監督員と打合せの上、色を決定すること。
備考	

D. 機器の取付位置

1. 機器類の取付け位置は監督員の承諾を受け施工とする。

機器名称	測点	取付高さ
照明器具（ブラケット）	鏡上～中心	150
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300
スイッチ（身体障害者用）	床上～中心	1,000
コンセント（一般）	床上～中心	300
コンセント（台上・畳上）	仕上～中心	200
コンセント（身体障害者用）	床上～中心	400
取引き用計器	地上～中心	1,800～2,000
引込開閉器盤	床上～上端	2,000～2,200
分電盤・制御盤	床上～上端	1,800～2,000
端子盤	床上～下端	300
保安器盤	床上～上端	2,000
表示器	床上～中心	2,300
テレビ機器収納盤	床上～上端	2,000
ベル・ブザー	床上～中心	2,300
押釦スイッチ	床上～中心	1,300
火報受信機	床上～操作部	800～1,500
火報総合盤	床上～中心	800～1,500
ホールドコイル	床上～中心	1,300

E. 指定製造業者

1. 次に示すメーカー及び同等品と認めたものより選定し監督員の承認を得て使用とする。

品名	メーカー名（順不同）
ケーブル、電線	日立電線　藤倉電線　住友電気工業　矢崎総業　昭和電線　大日日本電線 北日本電線　沖電線　古河電気工業
金属管及び付属品	JISマーク表示品
合成樹脂管及び付属品	日本パイプ製造　未来工業　東拓工業　パナソニック　古川電気工業　外山電気
金属製可とう電線管及び附属品	日鉄鋼管
合成樹脂可とう電線管及び付属品	
配線器具	パナソニック　東芝ライテック　神保電器
高、低圧配電盤	月寒製作所　興亜電機　電研　朝日電機　日東工業　前田電機製作所
制御盤	日立製作所　三菱電機　松下電器産業　川崎電気　富士電機製造　セブン電工
端子盤	パナソニック　東芝ライテック　河村電器　中山技術コンサルタント
プルボックス	札幌制御システム
住宅用分電盤	パナソニック　東芝ライテック　河村電器　日東工業　テンパール工業
高圧気中負荷開閉器	JIS－C4605「高圧交流負荷開閉器」によるものとする。 JIS－C4607「引き出し形高圧交流負荷開閉器」によるものとする。 JIS－C4611「限流ヒューズ付高圧交流負荷開閉器」によるものとする。
配線用遮断器	JIS－C8370「配線用遮断器」によるものとする。
漏電遮断器	JIS－C8371「漏電遮断器」によるものとする。
交流電磁開閉器	JIS－C8325「交流電磁開閉器」によるものとする。
交流電磁接触器	JEM－1038「交流電磁接触器」によるものとする。
変圧器	日立製作所　東芝　三菱電機　大阪変圧器　富士電機製造　松下電器産業　愛知電機
照明器具	パナソニック　東芝ライテック　三菱電機　大光電機　岩崎電気　山田照明 ヤマギワ　和光電気　オーヤマ照明　小泉産業　マックスレイ　遠藤照明　森電機 金門電気　日本電池
街路灯用ポール	上記各社の他、昭和ポール　ヨシモトポール　住金鋼材工業
フロアヒーティング	日立電線　三菱電線工業　住友電気工業　昭和電線　パナソニック　帝人
ロードヒーティング	北日本電線　古河電気工業　北海ダンロ　陽光技研　スノン工業　ミサト
避雷機器	大岩避雷針製作所　大阪避雷針工業　日本避雷針工業
自動式電話交換機	パナソニック　日本電気　日立製作所　富士通　沖電気工業　NTT
電話機器	東芝ライテック　岩崎通信機　アイホン
放送機器、AV機器	パナソニック　東芝ライテック　東亜特殊電機　ユニペックス 日本ビクター　ソニー　パイオニア　ヤマハ
上記以外の放送機器	前項各社　沖電気工業　日本無線　日本トランペット
インターホン	パナソニック　東芝ライテック　日本インターフォン
ナースコール	アイホン　ケアコム
表示器	前項各社　TIC　富士通
テレビ共聴機器	八木アンテナ　マスプロ電工　日本アンテナ　DXアンテナ　松下電器産業　ミハル通信
電気時計	T.I.Cシチズン　パナソニック　服部セイコー
情報通信網機器	アライドテレシス　プラネックス　パナソニック　バッファロー
自動火災報知機器	ホーチキ　ニッタン　能美防災　パナソニック
自動閉鎖装置機器	沖電気防災

一級建築士事務所　北海道知事登録（上）204号

株式会社 創明建築設計事務所

〒070-0038　旭川市8条通17丁目右1号

Tel:0166-21-8866　Fax:0166-21-8867

管理建築士	担当建築士	縮尺	検図	設計担当	製図訂正	年月日	工事名	図面番号
一級建築士登録 143874号 三嶋 幸利	一級建築士登録 273215号 佐藤 真一	用紙サイズ A－1 A－2 A－3		Sato	Kinosita	2015.10.15	東聖小学校非常用発電機設置工事 図面名 特記仕様書－1	E－1

F．工 事 区 分

項　目	建築	電気	機械	備　考
・躯体のスリーブ、箱抜ボックス入		○		補強は建築
・埋込照明器具、埋込盤、埋込ボックス、換気扇、吹出口等を取付るための下地開口及び開口補強	○			
・同上設備機器用の仕上材切込		○		
・電気機器の基礎・架台	○	○		
・換気扇フードの製作取付	○	○	○	
・電動シャッター、自動ドアの電源供給と一次側配管配線及び接続		○		二次側配管配線は ○建築　○電気
・昇降機の電源供給と一次側配管配線及び接続		○		二次側配管配線は ○建築　○電気
・電極保持器及び電極棒取付		○	○	長さの指示は機械
・同上制御・信号回路の配管配線及び接続		○	○	
・電動機器及び制御盤の電源供給と一次側配管配線及び接続		●	○	
・消火栓ポンプ等の起動回路及び表示灯回路の制御盤と配管配線及び接続		○		
・防火戸等の自動閉鎖装置のための連動制御盤、煙感知器、防火戸用電気錠の製作及び取付		○		
・連動制御盤から防火戸、防火シャッター、防煙ダンパーまでの配管配線及び接続		●		
・機械器具の電源供給と配管配線及び接続		●		
・電気設備工事による配管配線を機械器具に接続する作業		●		

G．設備工事仕様

1．電灯設備工事

電気方式	●分岐　単相２線式　１００V　５０Hz
	○分岐　単相２線式　２００V　５０Hz
施工範囲	●埋込いんぺい　○露出　●配管　●配線　●器具付
点滅器	○単一形　●大角連用形　○ワイドハンドル形
	○位置表示灯付（ネオンランプ）
	○確認表示灯付（パイロットランプ）（換気扇用）
	○強弱型換気扇用スイッチ（片切ＬＥＤ内蔵スイッチ＋３路スイッチ）
	○ネーム付スイッチは次の通りとする。
	（○全部　○１カ所に４個以上取付となるもの。　○強弱型換気扇用
	○有圧扇用と３線式シャッター用）
	○自動点滅器（埋込型）
コンセント	○単一形　●大角連用形　○複式形　○アップコン
	○特殊コンセントは表示付及びゴムプラグ付属とする
照明器具の吊ボルト	・蛍光灯器具４０ｗｘ１灯用以上の取付は埋込ボルト（φ　９mm以上）２本以上を用いて吊下げ支持する。但し２０ｗ２灯用以下はこの限りでない。
予備回路の配管	・分電盤からの立上がり予備配管は（２８）相当とし、予備回路が４以下で１本以上とし、５以上で２本以上とする。
	・天井スラブの場合は天井又は梁下から２００mm下の位置に中四角深形アウトレットボックス及び丸カバープレートを取付けとする。
蛍光灯と安定器	・直管２０W以上はグロースタート式高力率型とする。
	・直管４０W以上はラピットスタート式高力率型とする。
	・但しホームライトは上記以外のものでもよい。
断熱枠	・天井埋込形照明器具は断熱枠を取付と　○する　○しない。
誘導標識	・蓄光型

2．動力設備工事

電気方式	●３相３線式　２００V　５０Hz
	○単相２線式　１００V　５０Hz
	○単相２線式　２００V　５０Hz
施工範囲	●配管　●配線　●器具付

3．幹線設備工事

電気方式	○３相３線式　２００V　５０Hz
	○単相３線式　１００V／２００V　５０Hz
	○単相２線式　１００V　５０Hz
	○単相２線式　２００V　５０Hz
施工範囲	●配管　●配線　●器具付
自家発電機	○仮設電源用

4．受変電設備工事

防振処理	・高圧機器のうち、振動又は騒音を発するものは防振処理を施すこと。

5．電話設備工事

施工範囲	●配管　●配線　●器具付
電話機	○ボタン電話機　○６０１A　○卓上型　○壁掛型
	（○標準色　○指定色）
ドアホン	○露出型　○埋込型
主装置	○壁掛型　○床置型　○ラック内組込

6．構内交換設備工事

施工範囲	●配管　●配線　●器具付
電話機	○ボタン電話機　○６０１A　○卓上型　○壁掛型
	（○標準色　○指定色）
ドアホン	○露出型　○埋込型
主装置	○壁掛型　○床置型　○ラック内組込

7．拡声設備工事

施工範囲	●配管　●配線　●器具付
増幅器	○卓上型　○ラック型　○ディスク型
スピーカー	●天井埋込型　○壁掛型
アッテネーター	○スピーカー取付　○壁埋込形　○露出形
配線と機器の接続	○コネクター接続　○直接接続
その他	・消防法による非常警報設備と　○する　○しない.

8．呼出設備工事

施工範囲	●配管　●配線　●器具付
機器種別	○送受話器式同時通話方式　○高声式同時通話法式　○親子式　○複合式
	○相互式　○モニターテレビ　○カメラ付ドアホン
	○壁掛型　○卓上型
電源部	○壁付（収納箱付）　○機器収納盤内組込

9．テレビ共同受信設備工事

施工範囲	●配管　●配線　●器具付
地上放送用アンテナ	●ＵＨＦ（デジタル対応）　●ＢＬ規格　●壁掛型　○自立型
衛生放送用アンテナ	○ＢＳ　○ＣＳ　○ＢＬ規格　○壁掛型　○自立型
増幅器	●デジタル対応　○ＢＬ規格
直列ユニット	○露出　●埋込　●１端子　○２端子　○ＢＳ対応　●ＣＳ対応
	○双方向　●Ｆ形接栓　●デジタル対応
分配器・分岐器	○ＢＳ対応　○ＣＳ対応　○双方向　○ＢＬ規格　●デジタル対応

１０．電気時計設備工事

施工範囲	●配管　●配線　●器具付
親時計	●壁掛型　○自立型　○ラックマウント型
配線と機器の接続	・コネクター接続による。

１１．自動火災報知設備工事

施工範囲	●配管　●配線　●器具付
受信機	○露出形　○埋込形　○自立型
発信機	○露出形　●埋込形　○屋外型（防水）
電鈴	●屋内型　○屋外型（防水）
表示灯	●屋内型　○屋外型（防水）
機器取付方法	○総合盤　○消火栓函（別途）組込　○単独設置
火災通報装置	○消防機関へ通報するもの

１２．自動閉鎖設備工事

施工範囲	●配管　●配線　●器具付
連動制御盤	○露出形　○埋込形　○自立型
感知器	●露出形　○埋込形
電気錠	・防火戸用ラッチ式

１３．ガス漏れ警報設備工事

施工範囲	●配管　●配線　●器具付
受信機	○露出形　○埋込形　○自立型
	○都市ガス用　○ＬＰガス用
検知器	○有　○別途
中継器	○埋込型　○露出型　○表示灯付

１４．雷保護設備工事

受雷部	○突針　○棟上導体　○接地極のみ
避雷導体	・３８mm² 銅撚線
接続図	○要　○不要
代替導線	○鉄骨を利用　○鉄筋を利用　○代替無し

１５．外灯設備工事

電気方式	●単相２線式　○単相３線式　○１００V　●２００V　５０Hz
施工方式	○架空配線式　●地中配線式
ケーブル保護材料	●波付硬質ポリエチレン管　○ポリエチレンライニング鋼管
	○ジュート巻鋼管　○鉄筋コンクリート管　○コンクリートトラフ
点滅方式	●自動式　●手動式
ポール	●ストレート　○テーパ

１６．構内配電線路設備工事

電気方式	・高圧　○３相３線式
	・低圧　●３相３線式　○単相２線式　●単相３線式
施工方法	○架空配線式　●地中配線式
ケーブル保護材料	●波付硬質ポリエチレン管　○ポリエチレンライニング鋼管
	○内外面溶融亜鉛メッキ鋼管　○鉄筋コンクリート管　○コンクリートトラフ
名札	・電力会社規格のものとする。
ケーブル立上げ・引下げ用保護管	●ケーブル外形の１．５倍以上を有する内径のものとし、配管種別は次による。
	●内外面溶融亜鉛メッキ鋼管　○ポリエチレンライニング鋼管
ケーブル埋設標	●コンクリート製　○鉄製　※頂部に方向矢印を刻印したものとする。
塩害防止	○変圧器、開閉器、しゃ断器、ＰＣＳ、ブッシング碍子、リード線塗装等は（○耐塩用　○重耐縁用）とする。
	○屋外ケーブルの端末処理は耐塩処理とする。

１７．構内通信線路設備工事

施工方法	○架空配線式　●地中配線式
ケーブル保護材料	●波付硬質ポリエチレン管　○ポリエチレンライニング鋼管
	○内外面溶融亜鉛メッキ鋼管　○鉄筋コンクリート管　○コンクリートトラフ
ケーブル立上げ・引下げ用保護管	●ケーブル外形の１．５倍以上を有する内径のものとし、配管種別は次による。
	●厚鋼電線管（内外面溶融亜鉛メッキ）　○ポリエチレンライニング鋼管
ケーブル埋設標	○コンクリート製　○鉄製　※頂部に方向矢印を刻印したものとする。
名札	ＮＴＴ仕様による。

１８．構内交換設備工事

施工範囲	○配管　○配線　○器具付　○保安用接地
交換機	○クロスバ分散型　○クロスバ簡易キャビネット
	○クロスバキャビネット型　○クロスバ架型　○電子交換機
局線中継台	○無ひも式局線中継台　○ひも式局線中継台
本配線盤	○自立フレーム片面型　○自立フレーム両面型
配線方式	○配管配線　○ダクト配線　○ケーブル配線　○床上配線
フロアーボックス	・水平高低調整付　アウトレットボックス　１１９ｘ１１９ｘ５４mm
ローテションアウトレット	・ＰＶＣ線引出し用　○アルミ合金製　○砲金製
	○クラゲ型　○クロバー型　○亀甲型
	○内線電話用
	・ケーブル引出し用　○アルミ合金製　○砲金製
	○クラゲ型　○クロバー型　○亀甲型
	○ボタン電話用
プレート	○角型（○ステンレス　○新金属　○合成樹脂）
	○丸型（○ステンレス　○新金属　○合成樹脂）
電話機	○一般内線電話機　○局線受付電話機　○ボタン電話機

１９．自家発電設備工事

施工範囲	○配管　○配線　○器具付
発電装置	○簡易形　○キュービクル形
発電機	KVA
原電機	
始動装置	○電気始動方式　○空気始動方式
停止装置	○燃料遮断方式　○吸入空気遮断方式
配電盤	
燃料油	○灯油（○１号　○２号）
	○軽油（○１号　○２号　○３号　○特３号）
	○重油（○１号　○２号）
配管材料	・油系　○鋼管　○銅管
	・冷却水系　○鋼管
	・空気系　○鋼管　○圧力鋼管
	・排気系　○鋼管　○鋼管類

H．凡　例

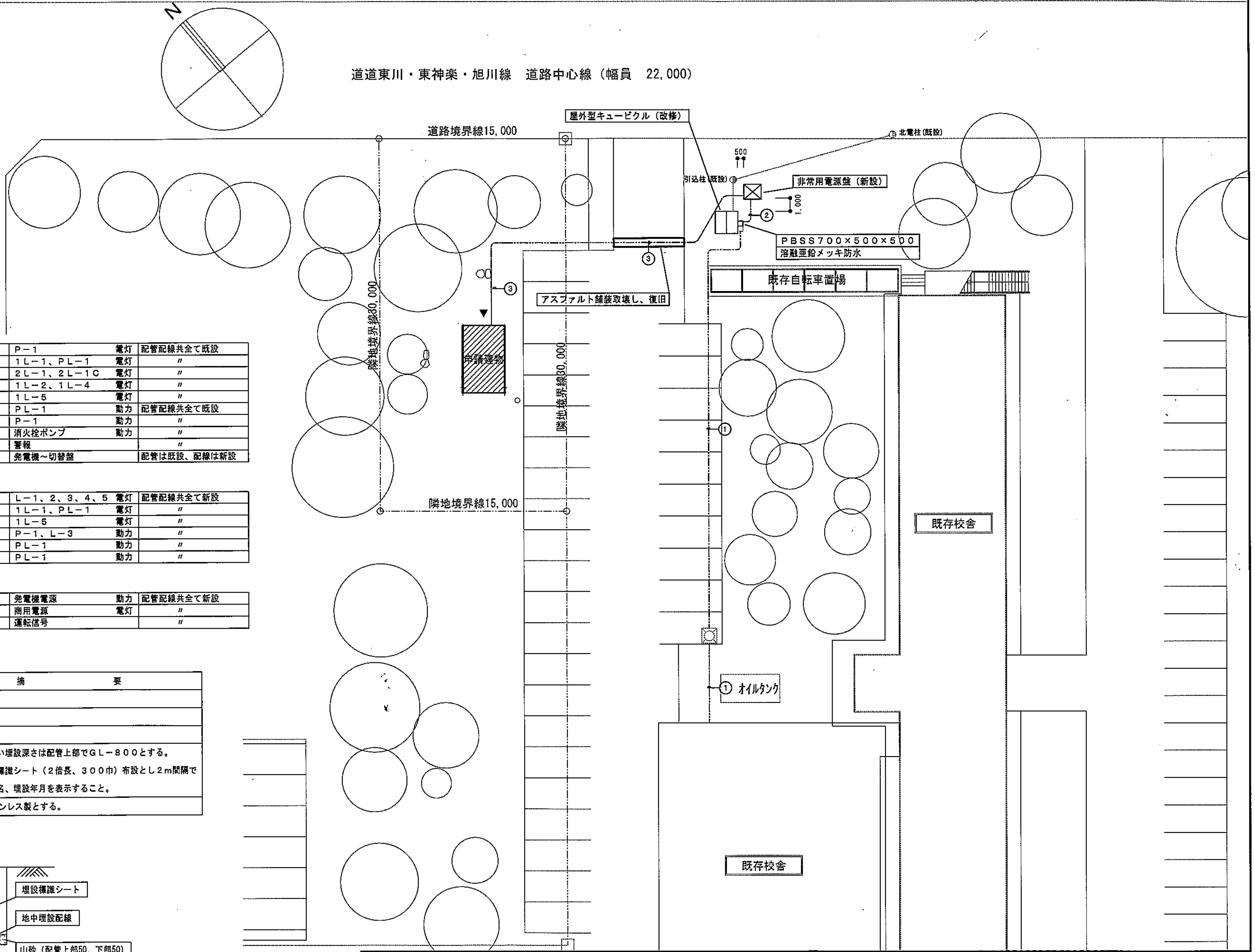
記号	名称	記号	名称
▭○▭	蛍光灯器具	⊡	押釦（壁付）
▭◐▭	蛍光灯器具（壁付）	AMP	増幅器
⊡	蛍光灯器具	⊿	スピーカー
○	蛍光灯器具又は白熱灯器具	⊗⊗	両面スピーカー
◐	白熱灯器具（壁付）	▭◁	トランペットスピーカー
Ⓗ	ＨＩＤ灯	ø	アッテネーター
●	非常用照明器具（天井付）	ⒿM	マイクコンセント
◉	非常用照明器具（壁付）	ⒿS	スピーカーコンセント
▭●▭	非常用照明器具（蛍光灯）	◷	パルス発生器
▭⊗▭	誘導灯	◷	親時計
⊗ ⊠	換気扇	◷	子時計
⦶	コンセント（壁付）	⊟	端子盤
⦶	フロアコンセント	ⓣ	インターホン親機
●	スイッチ　片切	ⓣ	インターホン子機
●2P	スイッチ　両切	T	アンテナ
●3	スイッチ　３路	⊠	テレビ機器収納盤
●4	スイッチ　４路	ϕ	混合器
●L	スイッチ　確認表示灯付	-ϕ-	分岐器
○K	強弱パイロットランプ付スイッチ	-○-	分配器
●R	リモコンスイッチ	◎	直列ユニット
●A	自動点滅器	⊞	電話保安器盤
Ⓢ	配電函	◉	電話受口
Ⓦh	電力量計	⊠	受信機
Wh	電力量計（収納箱共）	⊟	副受信機
⊛G	漏電警報器	⊖	差動式スポット形感知器
Ⓜ	電動機	○	定温式スポット形感知器
╪	コンデンサー	S	煙感知器
⏚	接地極	⧖	差動式分布形感知器
◩	電灯盤	———	空気管
⧓	動力盤・制御盤	Ⓟ	手動発信機
⊠	プルボックス	Ⓑ	火災報知電鈴
———	天井隠ぺいケーブル配線又は、地中電線路	○	表示灯
		◉	試験押釦
———	天井隠ぺい配管配線	⊿	標識板
………	露出配管配線	⊟	防火戸制御盤
- - - -	床隠ぺい配管配線	⊛	避雷針
—C—	配管のみ	↗ ⤢ ↘	立上げ・素通し・引下げ
—√—	架空引込位置	Ⓙ	ノズルプレート又はカバープレート

I．図中特記の無い配管配線は次による。

—·——·—	ＥＥＦ１．６－２ｃ		———	ＩＥ１．６ｘ　２	（１６）
—·///·—	ＥＥＦ１．６－３ｃ		—///—	ＩＥ１．６ｘ　３	（１６）
—·////·—	ＥＥＦ１．６－２ｃ～２		—////—	ＩＥ１．６ｘ　４	（１６）
—·/////·—	ＥＥＦ１．６－３ｃ＋２ｃ		—/////—	ＩＥ１．６ｘ　５	（１６）
—·//////·—	ＥＥＦ１．６－３ｃ～２		—//////—	ＩＥ１．６ｘ　６	（１６）
—·/7·—	ＥＥＦ１．６－３ｃ＋２ｃ～２		—/7—	ＩＥ１．６ｘ　７	（２２）
—·/8·—	ＥＥＦ１．６－３ｃ～２＋２ｃ		—/8—	ＩＥ１．６ｘ　８	（２２）
—·/9·—	ＥＥＦ１．６－３ｃ～３		—/9—	ＩＥ１．６ｘ　９	（２２）
—·/10·—	ＥＥＦ１．６－３ｃ～２＋２ｃ～２		—/10—	ＩＥ１．６ｘ１０	（２２）
—·/11·—	ＥＥＦ１．６－３ｃ～３＋２ｃ		—/11—	ＩＥ１．６ｘ１１	（２２）
—·/12·—	ＥＥＦ１．６－３ｃ～４		—/12—	ＩＥ１．６ｘ１２	（２８）
—·/13·—	ＥＥＦ１．６－２ｃ～２＋３ｃ～３		—//—	ＩＥ２．０ｘ　２	（１６）
—·/14·—	ＥＥＦ１．６－３ｃ～４＋２ｃ		—///2.0—	ＩＥ２．０ｘ　３	（１６）
—·//·—	ＥＥＦ２．０－２ｃ		—////2.0—	ＩＥ２．０ｘ　４	（１６）
—·///2.0—	ＥＥＦ２．０－３ｃ		—/////2.0—	ＩＥ２．０ｘ　５	（２２）
—·////2.0—	ＥＥＦ２．０－２ｃ～２		—//////2.0—	ＩＥ２．０ｘ　６	（２２）
—·/////2.0—	ＥＥＦ２．０－２ｃ＋３ｃ				
—·//////2.0—	ＥＥＦ２．０－３ｃ～２		------------	ＩＥ１．６ｘ　２	（１９）
			-----///-----	ＩＥ１．６ｘ　３	（１９）
— — — —	ＩＥ１．６ｘ　２	（１６）	-----////-----	ＩＥ１．６ｘ　４	（１９）
— —///— —	ＩＥ１．６ｘ　３	（１６）	-----/////-----	ＩＥ１．６ｘ　５	（２５）
— —////— —	ＩＥ１．６ｘ　４	（１６）	-----//////-----	ＩＥ１．６ｘ　６	（２５）
— —/////— —	ＩＥ１．６ｘ　５	（１６）	-----/7-----	ＩＥ１．６ｘ　７	（２５）
— —//////— —	ＩＥ１．６ｘ　６	（１６）	-----/8-----	ＩＥ１．６ｘ　８	（２５）
— —/7— —	ＩＥ１．６ｘ　７	（２２）	-----/9-----	ＩＥ１．６ｘ　９	（３１）
— —/8— —	ＩＥ１．６ｘ　８	（２２）	-----/10-----	ＩＥ１．６ｘ１０	（３１）
— —//— —	ＩＥ２．０ｘ　２	（１６）	-----//-----	ＩＥ２．０ｘ　２	（１９）
— —///2.0— —	ＩＥ２．０ｘ　３	（１６）	-----///2.0-----	ＩＥ２．０ｘ　３	（１９）
— —////2.0— —	ＩＥ２．０ｘ　４	（１６）	-----////2.0-----	ＩＥ２．０ｘ　４	（２５）
— —/////2.0— —	ＩＥ２．０ｘ　５	（２２）	-----/////2.0-----	ＩＥ２．０ｘ　５	（２５）
— —//////2.0— —	ＩＥ２．０ｘ　６	（２２）	-----//////2.0-----	ＩＥ２．０ｘ　６	（２５）

一級建築士事務所　北海道知事登録(上)204号
株式会社 創明建築設計事務所
〒070-0038　旭川市1条通17丁目右1号
Tel:0166-21-8888　Fax:0166-21-8887

管理建築士	担当建築士	縮尺	検図	設計担当	製図訂正	年月日	工事名	図面番号
一級建築士登録 143974号 三嶋　幸利	一級建築士登録 273215号 佐藤　真一	用紙サイズ A－1 A－2 A－3					東聖小学校非常用発電機設置工事	E － 2
							図面名 特記仕様書－2	


N
道道東川・東神楽・旭川線　道路中心線（幅員　22,000）
道路境界線15,000
屋外型キュービクル（改修）
北電柱（既設）
500
引込柱（既設）
非常用電源盤（新設）
1,000
②
PBSS700×500×500
溶融亜鉛メッキ防水
③
アスファルト舗装取壊し、復旧
既存自転車置場
申請建物
隣地境界線30,000
隣地境界線30,000
隣地境界線15,000
① オイルタンク
既存校舎
既存校舎

①

CET　100□	(FEP65)	P－1	電灯	配管配線共全て既設
CET　60□	(FEP65)	1L－1、PL－1	電灯	〃
CET　60□	(FEP65)	2L－1、2L－1C	電灯	〃
CET　60□	(FEP65)	1L－2、1L－4	電灯	〃
CET　38□	(FEP65)	1L－5	電灯	〃
CET　60□	(FEP65)	PL－1	動力	配管配線共全て既設
CET　60□	(FEP65)	P－1	動力	〃
FP－C　22□－3c	(FEP40)	消火栓ポンプ	動力	〃
CEE　2□－4c	(FEP30)	警報		〃
CE　2□－2c	(FEP65)	発電機～切替盤		配管は既設、配線は新設

②

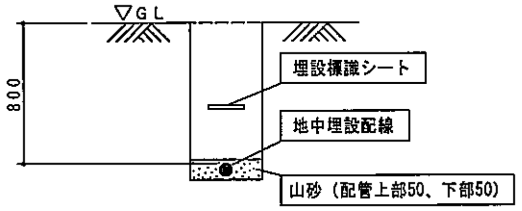
CET　100□	(FEP65)～2	L－1、2、3、4、5	電灯	配管配線共全て新設
CET　60□	(FEP65)～2	1L－1、PL－1	電灯	〃
CET　60□	(FEP65)～2	1L－5	電灯	〃
CET　60□	(FEP65)～2	P－1、L－3	動力	〃
CET　60□	(FEP65)	PL－1	動力	〃
CET　60□　E14□	(FEP65)	PL－1	動力	〃

③

CET　100□	(FEP65)	発電機電源	動力	配管配線共全て新設
CE　3.5□－3c	(FEP30)	商用電源	電灯	〃
CE　2□－2c	(FEP30)	運転信号		〃

凡　例

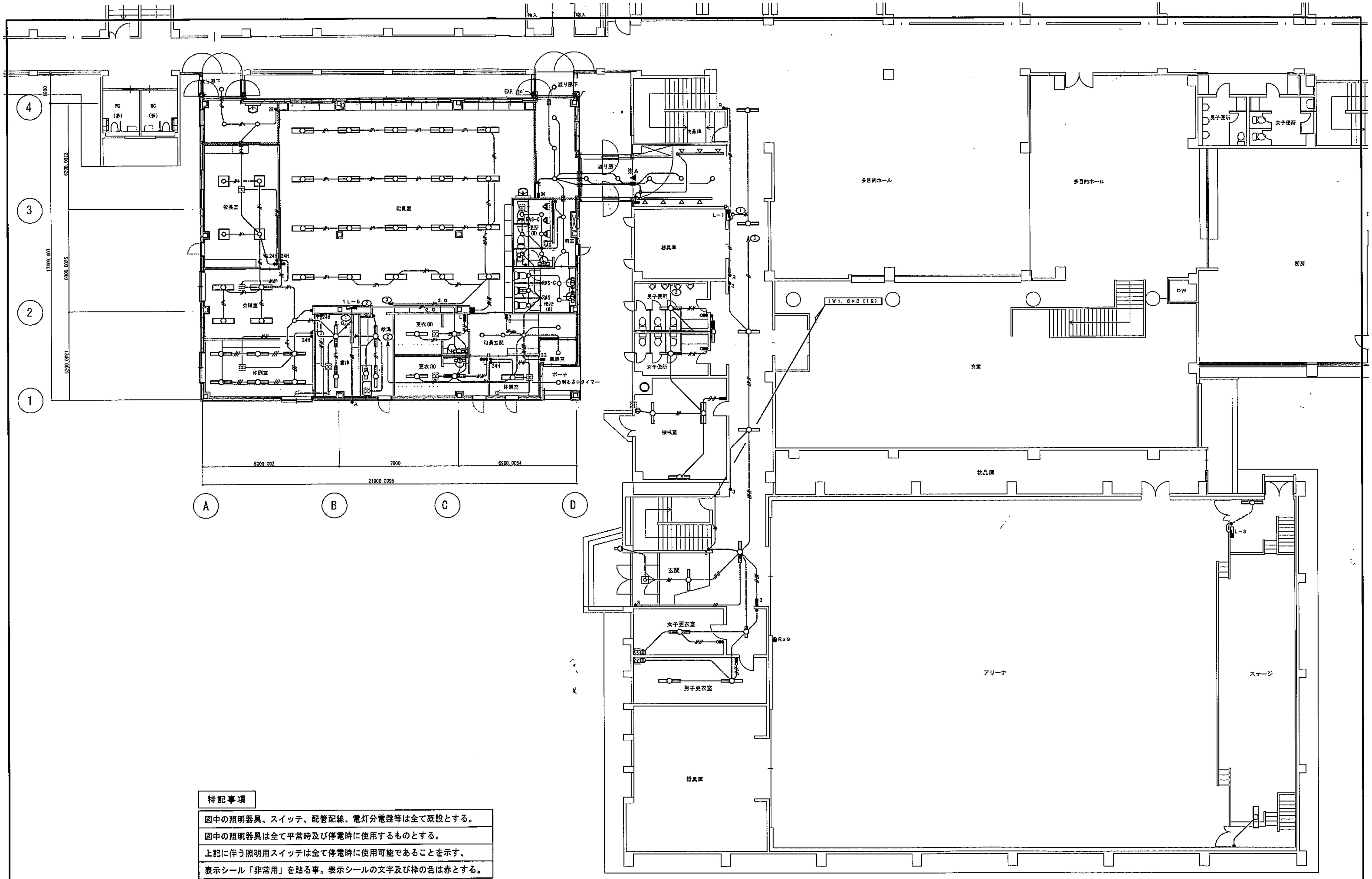
記　号	名　称	摘　要
⊠	地中線埋設標	
⊠	ハンドホール	
-··-··-	地中電線路	図中特記の無い埋設深さは配管上部でGL－800とする。 尚、全て埋設標識シート（2倍長、300巾）布設とし2m間隔で 名称、管理者名、埋設年月を表示すること。
1. 屋外に使用するビス，ボルト，ナット類はステンレス製とする。		


▽GL
800
埋設標識シート
地中埋設配線
山砂（配管上部50、下部50）

地中埋設配線断面図

一級建築士事務所　北海道知事登録(上)204号
株式会社 創明建築設計事務所
〒070-0036　旭川市6条通17丁目右1号
Tel:0166-21-6666　Fax:0166-21-6667

管理建築士	担当建築士	縮尺	検図	設計担当	製図打正	年月日	工事名 / 図面名	図面番号
一級建築士登録 143974号 三嶋　幸利	一級建築士登録 273215号 佐藤　真一	用紙サイズ A－1 A－2 A－3　1/300		Sato	Kinosita	2015.10.15	東聖小学校非常用発電機設置工事 配置図	E－3


渡り廊下
EXP.J
WC (多)
WC (多)
校長室
職員室
会議室
印刷室
書庫
給湯
更衣(M)
更衣(W)
職員玄関
休憩室
風除室
ポーチ
明るさ+タイマー
便所(M)
便所(W)
前室
RAS-C
RAS
1L-5
L-1
L-3
24H
2.0
物品庫
器具庫
男子便所
女子便所
機械室
玄関
女子更衣室
男子更衣室
多目的ホール
男子便所
女子便所
厨房
DW
食堂
IV1.6×3(19)
物品庫
アリーナ
ステージ
Rx9
器具庫
物入
8000.003
7000
6900.0064
21900.0095
6200.0023
6000.0025
5200.0021
17400.007
A
B
C
D
1
2
3
4

特記事項

図中の照明器具、スイッチ、配管配線、電灯分電盤等は全て既設とする。

図中の照明器具は全て平常時及び停電時に使用するものとする。

上記に伴う照明用スイッチは全て停電時に使用可能であることを示す、

表示シール「非常用」を貼る事。表示シールの文字及び枠の色は赤とする。

一級建築士事務所　北海道知事登録(上)204号
株式会社 創明建築設計事務所
〒070-0038 旭川市8条通17丁目右1号
Tel:0166-21-8886 Fax:0166-21-8887

管理建築士
一級建築士登録 143974号
三嶋 幸利

担当建築士
一級建築士登録 273215号
佐藤 真一

縮尺					
用紙サイズ	A-1				
	A-2				
	A-3	1/200			

検図

設計担当　Sato

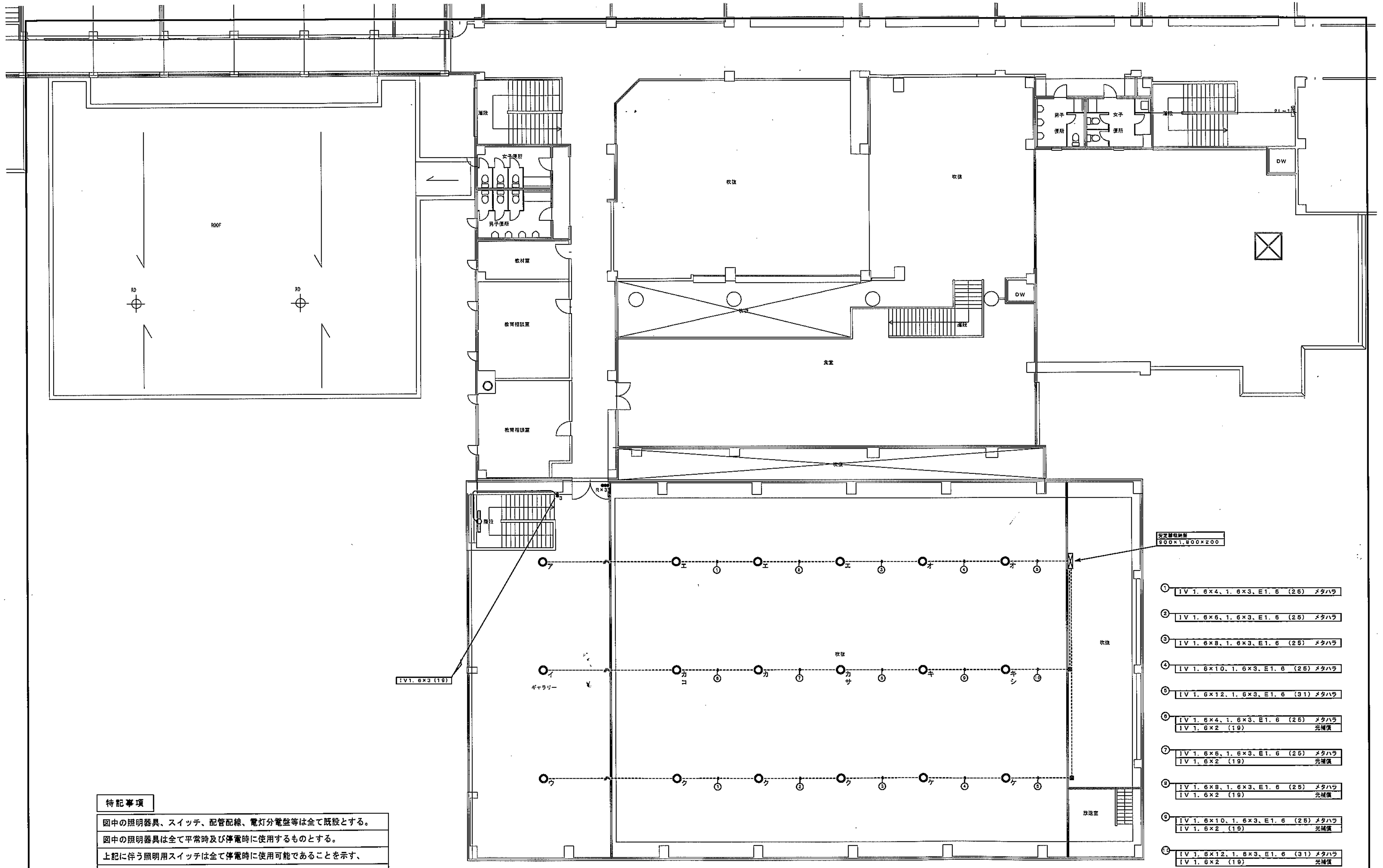
製図訂正　Kinosita

年月日　2015.10.15

工事名　東聖小学校非常用発電機設置工事

図面名　1階　電灯設備図

図面番号　E - 4


ROOF
RD
RD
階段
女子便所
男子便所
教材室
教育相談室
教育相談室
吹抜
吹抜
吹抜
階段
DW
食堂
吹抜
男子
便所
女子
便所
階段
21～1
DW
R×3
3
階段
IV1. 6×3 (19)
ア
イ
ウ
ギャラリー
エ
エ
エ
オ
オ
カ
コ
カ
カ
サ
キ
キ
シ
ク
ク
ク
ケ
ケ
吹抜
吹抜
放送室
安定器収納盤
900×1,800×200
① IV 1. 6×4、1. 6×3、E1. 6 (25) メタハラ
② IV 1. 6×6、1. 6×3、E1. 6 (25) メタハラ
③ IV 1. 6×8、1. 6×3、E1. 6 (25) メタハラ
④ IV 1. 6×10、1. 6×3、E1. 6 (25) メタハラ
⑤ IV 1. 6×12、1. 6×3、E1. 6 (31) メタハラ
⑥ IV 1. 6×4、1. 6×3、E1. 6 (25) メタハラ
IV 1. 6×2 (19) 光補償
⑦ IV 1. 6×6、1. 6×3、E1. 6 (25) メタハラ
IV 1. 6×2 (19) 光補償
⑧ IV 1. 6×8、1. 6×3、E1. 6 (25) メタハラ
IV 1. 6×2 (19) 光補償
⑨ IV 1. 6×10、1. 6×3、E1. 6 (25) メタハラ
IV 1. 6×2 (19) 光補償
⑩ IV 1. 6×12、1. 6×3、E1. 6 (31) メタハラ
IV 1. 6×2 (19) 光補償

特記事項

図中の照明器具、スイッチ、配管配線、電灯分電盤等は全て既設とする。

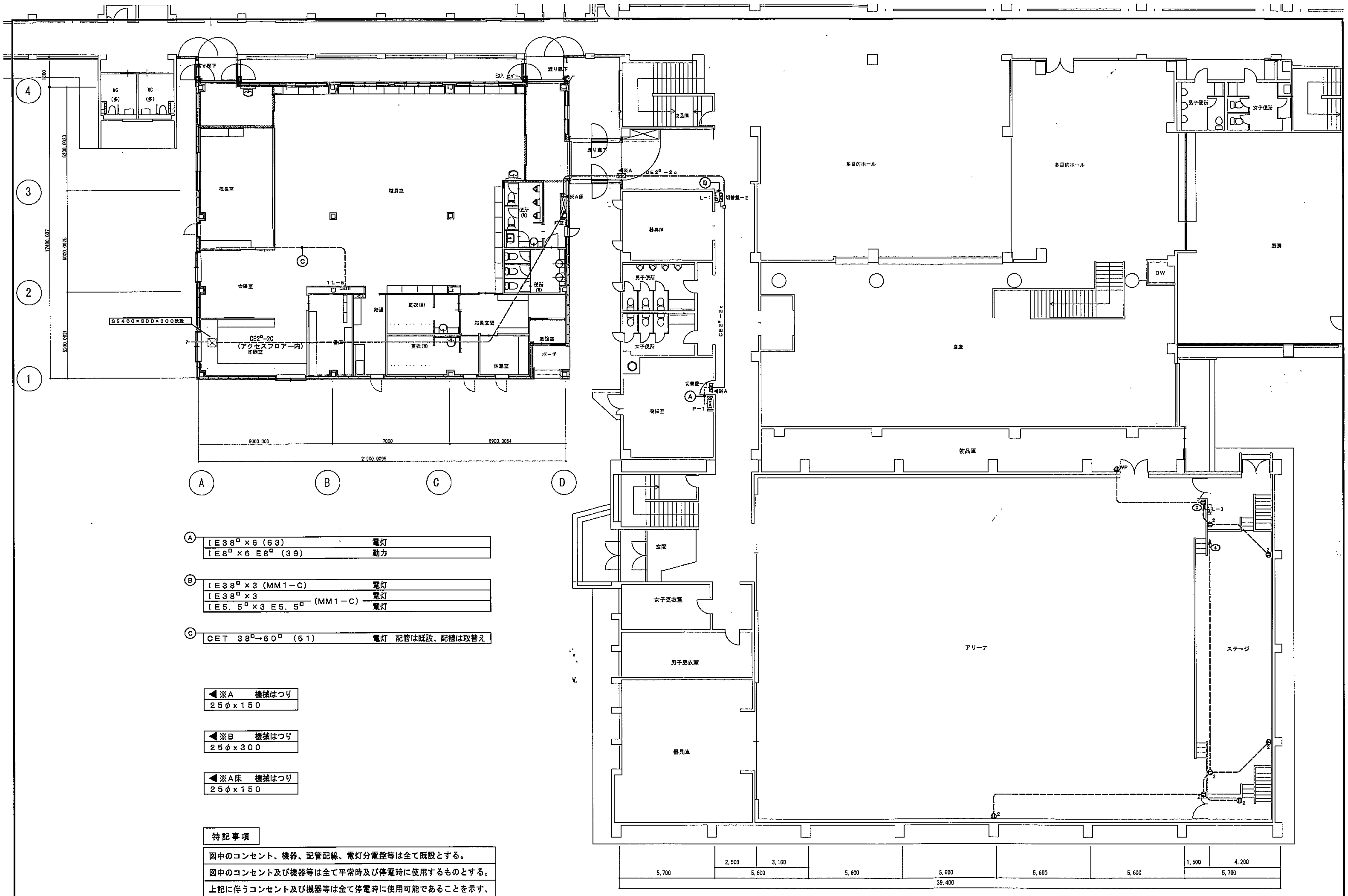
図中の照明器具は全て平常時及び停電時に使用するものとする。

上記に伴う照明用スイッチは全て停電時に使用可能であることを示す、

表示シール「非常用」を貼る事。表示シールの文字及び枠の色は赤とする。

一級建築士事務所　北海道知事登録(上)204号
株式会社 創明建築設計事務所
〒070-0038　旭川市8条通17丁目右1号
Tel:0166-21-8886　Fax:0166-21-8887

管理建築士	担当建築士	縮尺		検図	設計担当	製図訂正	年月日	工事名	図面番号
一級建築士登録 143974号 三嶋 幸利	一級建築士登録 273215号 佐藤 真一	用紙サイズ A－1 A－2 A－3	1/200		Sato	Kinosita	2015. 10. 15	東聖小学校非常用発電機設置工事 図面名 2階　電灯・幹線設備図	E － 5


4
3
2
1
A
B
C
D
WC (多)
WC (多)
渡り廊下
EXP.J
校長室
職員室
会議室
印刷室
SS400×300×300既設
CE2□-2C
(アクセスフロアー内)
1L-5
給湯
更衣(M)
更衣(W)
職員玄関
風除室
ポーチ
休憩室
便所(M)
便所(W)
※A
※A床
CE2□-2c
L-1
切替盤-2
器具庫
男子便所
女子便所
機械室
切替盤
※A
P-1
物品庫
多目的ホール
多目的ホール
厨房
DW
食堂
物品庫
L-3
玄関
女子更衣室
男子更衣室
器具庫
アリーナ
ステージ
8000.003
7000
6900.0064
21900.0095
5200.0021
6200.0025
6200.0023
17400.097
2,500
3,100
1,500
4,200
5,700
5,600
5,600
5,600
5,600
5,600
5,700
39,400

Ⓐ

IE38□×6 (63)	電灯
IE8□×6 E8□ (39)	動力

Ⓑ

IE38□×3 (MM1－C)		電灯
IE38□×3	(MM1－C)	電灯
IE5.5□×3 E5.5□		電灯

Ⓒ

CET 38□→60□ (51)	電灯 配管は既設、配線は取替え

◀※A	機械はつり
25φx150	

◀※B	機械はつり
25φx300	

◀※A床	機械はつり
25φx150	

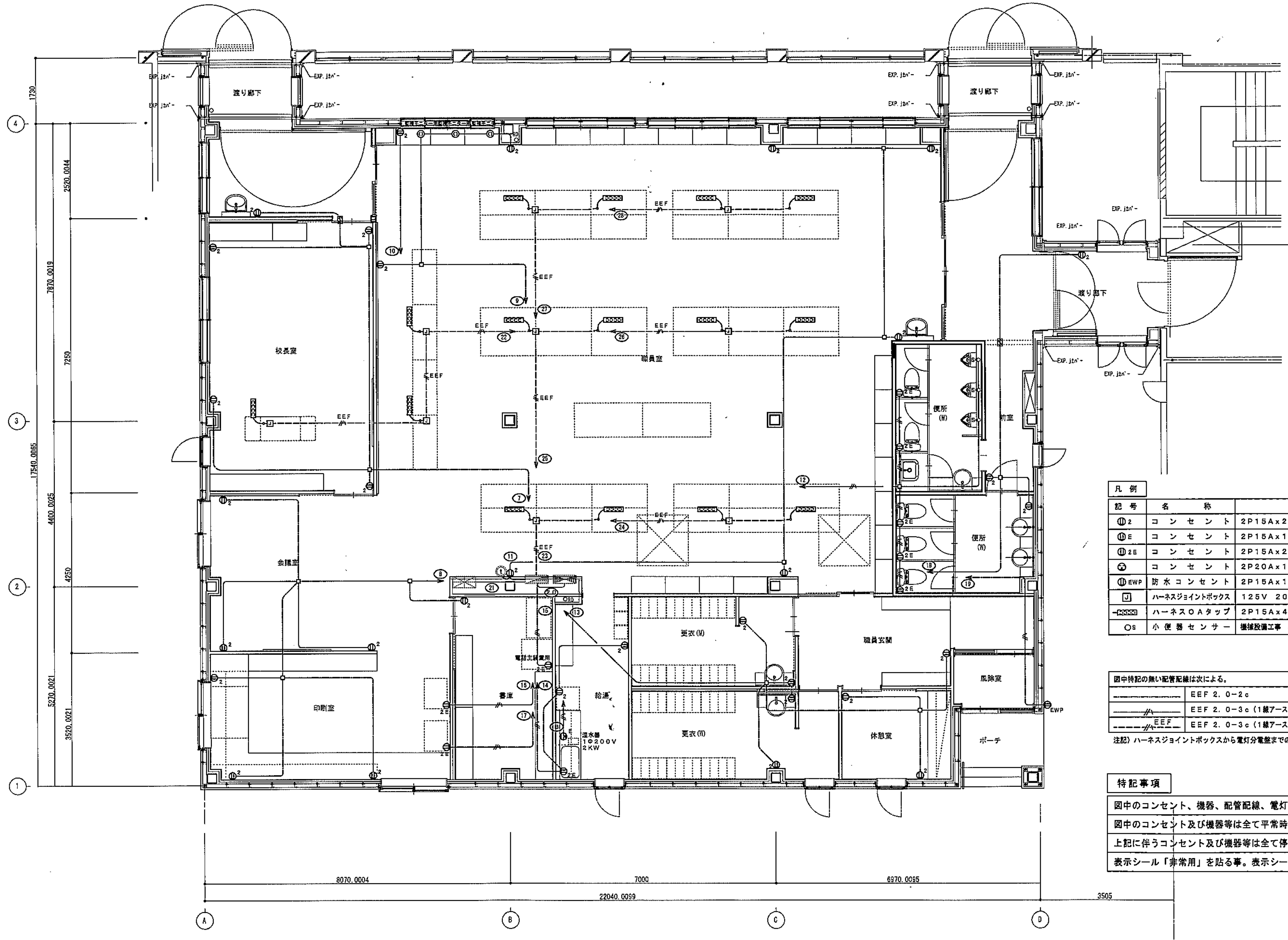
特記事項

図中のコンセント、機器、配管配線、電灯分電盤等は全て既設とする。

図中のコンセント及び機器等は全て平常時及び停電時に使用するものとする。

上記に伴うコンセント及び機器等は全て停電時に使用可能であることを示す、表示シール「非常用」を貼る事。表示シールの文字及び枠の色は赤とする。

一級建築士事務所 北海道知事登録(上)204号 株式会社 創明建築設計事務所 〒070-0038 旭川市8条通17丁目右1号 Tel:0166-21-8886 Fax:0166-21-8887	管理建築士 一級建築士登録 143974号 三嶋 幸利	担当建築士 一級建築士登録 273215号 佐藤 真一	縮尺 用紙サイズ A－1 A－2 A－3 1/200	検図	設計担当 Sato	製図訂正 Kinosita	年月日 2015.10.15	工事名 東聖小学校非常用発電機設置工事 図面名 1階 コンセント－1・幹線設備図	図面番号 E － 6


渡り廊下
渡り廊下
渡り廊下
EXP. jtn'-
校長室
職員室
会議室
印刷室
書庫
電話主装置用
給湯
温水器
1Φ200V
2KW
更衣(M)
更衣(W)
職員玄関
休憩室
風除室
ポーチ
便所(M)
便所(W)
前室
EEF
EWP
1730
2520.0044
7870.0019
7250
17540.0065
4400.0025
4250
5270.0021
3520.0021
8070.0004
7000
6970.0095
22040.0099
3505
1
2
3
4
A
B
C
D

凡 例

記 号	名 称	摘 要
⏀2	コンセント	2P15Ax2 大角適用
⏀E	コンセント	2P15Ax1 接地端子付 〃
⏀2E	コンセント	2P15Ax2 接地端子付 〃
⏀	コンセント	2P20Ax1 接地極付 250V プラグ、表示付 〃
⏀EWP	防水コンセント	2P15Ax1 接地極付 プラグ付 ロック式
J	ハーネスジョイントボックス	125V 20A 3心2分岐送り付き
─▭	ハーネスOAタップ	2P15Ax4 接地付 コード3m 抜止型
○S	小便器センサー	機械設備工事 小便器用 O.Box中型44（電気工事）

図中特記の無い配管配線は次による。		
────	EEF 2.0−2c	天井内隠蔽
──//──	EEF 2.0−3c（1線アース）	〃
‐‐‐//EEF‐‐	EEF 2.0−3c（1線アース）	フロアダクト内隠蔽

注記）ハーネスジョイントボックスから電灯分電盤までの配線は全てEEF2.0−3cとする。

特記事項

図中のコンセント、機器、配管配線、電灯分電盤等は全て既設とする。

図中のコンセント及び機器等は全て平常時及び停電時に使用するものとする。

上記に伴うコンセント及び機器等は全て停電時に使用可能であることを示す、

表示シール「非常用」を貼る事。表示シールの文字及び枠の色は赤とする。

一級建築士事務所 北海道知事登録(上)204号
株式会社 創明建築設計事務所
〒070-0038 旭川市8条通17丁目右1号
Tel:0166-21-8886 Fax:0166-21-8887

管理建築士
一級建築士登録 143974号
三嶋 幸利

担当建築士
一級建築士登録 273215号
佐藤 真一

縮尺
用紙サイズ A−1
A−2
A−3 1/100

検図

設計担当
Sato

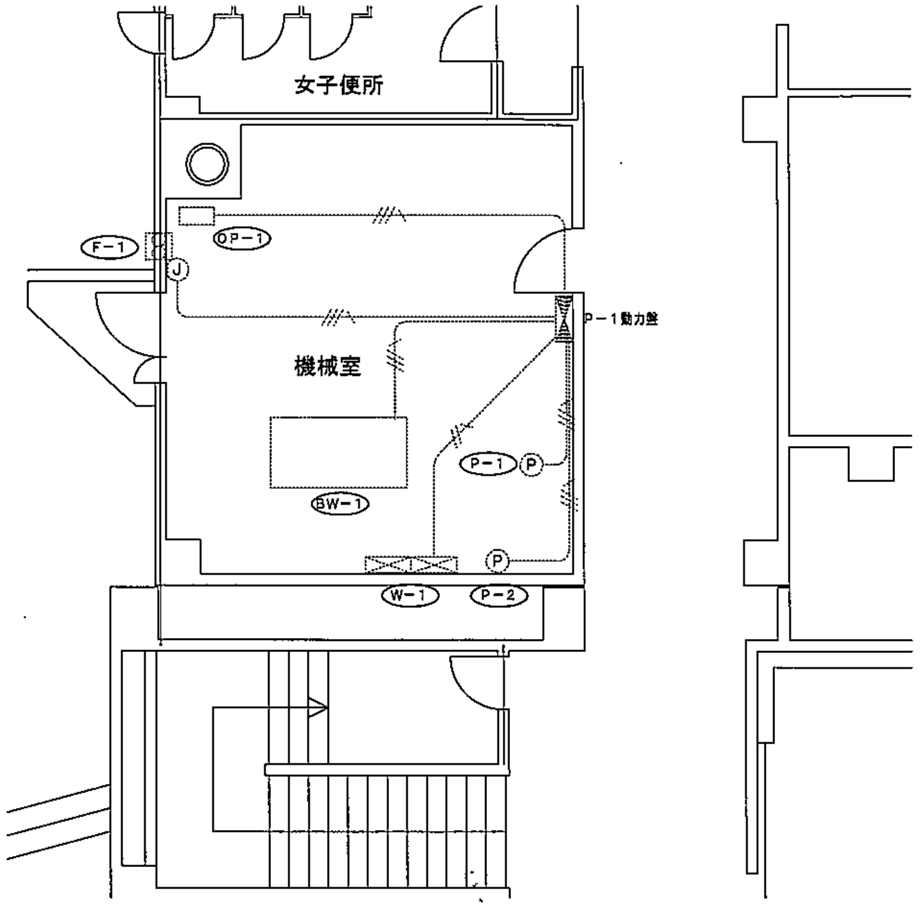
製図訂正
Kinosita

年月日
2015.10.15

工事名
東聖小学校非常用発電機設置工事

図面名
1階 コンセント設備図−2

図面番号
E − 7



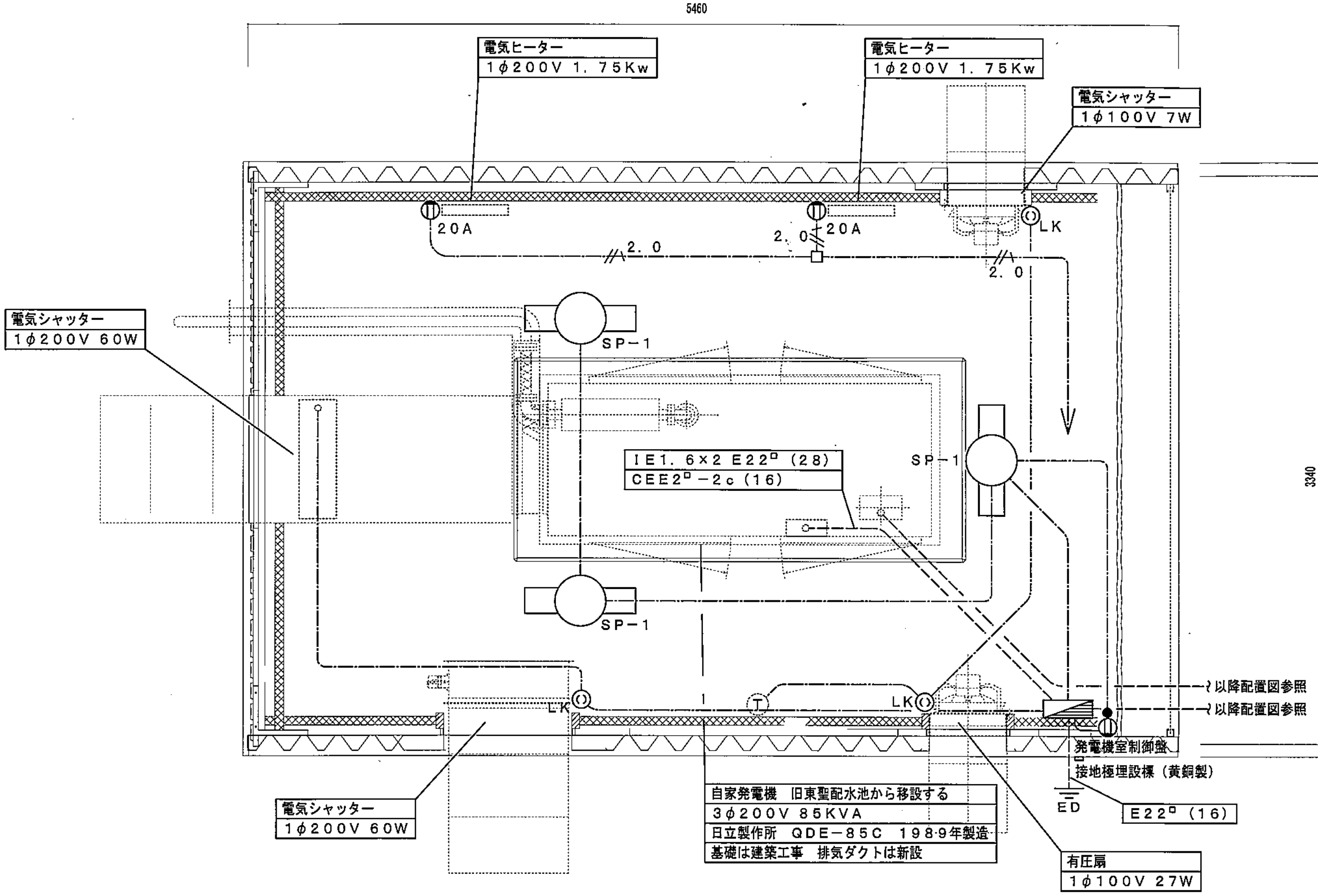
電気機器容量表

番号	機器名称	電気容量（Kw）			連動制御機器
		1φ100v	1φ200v	3φ200v	
BW−1	ボイラー			1.9+500VA	
P−1	温水ポンプ			0．25	
P−2	温水ポンプ			0．25	
W−1	自動制御盤		0．1×2		
F−1	有圧扇			0．2	
OP−1	オイルポンプ			0．2	

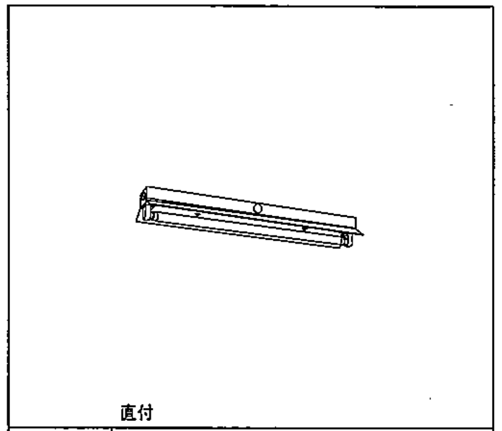
電気機器容量表にある機器は全て平常時及び停電時に使用とする。
上記に伴う動力盤（既設）扉面にある各機器用操作スイッチ及びブレーカー等は全て
停電時の運転が可能であることを示す、表示シール「非常用」を貼る事。
表示シールの文字及び枠の色は赤とする。

一級建築士事務所　北海道知事登録(上)204号
株式会社 創明建築設計事務所
〒070-0036　旭川市6条通17丁目右1号
Tel:0166-21-8886　Fax:0166-21-8887

管理建築士	担当建築士	縮尺		検図	設計担当	製図訂正	年月日	工事名	図面番号
一級建築士登録 143974号 三嶋　幸利	一級建築士登録 273215号 佐藤　真一	用紙サイズ A−1 A−2 A−3	1/100		Sato	Kinosita	2015. 10. 15	東聖小学校非常用発電機設置工事 図面名 1階機械室　動力設備図	E − 8


5460
電気ヒーター
1φ200V 1.75Kw
電気ヒーター
1φ200V 1.75Kw
電気シャッター
1φ100V 7W
20A
2.0
2.0
20A
LK
2.0
電気シャッター
1φ200V 60W
SP-1
SP-1
IE1.6×2 E22ᴾ (28)
CEE2ᴾ-2c (16)
SP-1
3340
(水切りベースの外寸法) 3490
以降配置図参照
以降配置図参照
LK
LK
発電機室制御盤
接地極埋設棒（黄銅製）
ED
E22ᴾ (16)
電気シャッター
1φ200V 60W
自家発電機 旧東聖配水池から移設する
3φ200V 85KVA
日立製作所 QDE-85C 1989年製造
基礎は建築工事 排気ダクトは新設
有圧扇
1φ100V 27W

照明器具姿図



SP-1	FSR2-161-PH

自家発電機交換部品、他

番号	品名	数量	単位
1	交換部品費	1	式
	1）オイルエレメント	1	個
	2）エンジンオイル	20	ﾘｯﾄﾙ
	3）クーラント	20	ﾘｯﾄﾙ
	4）エレメントセットフューエル	1	個
	5）シリンダーヘッドガスケット	1	枚
	6）アッパーホース	1	本
	7）ロアホース	1	本
	8）クランプ	2	本
	9）クランプ	2	本
	10）ヒーターホース	3	m
	11）クランプ	4	個
	12）Vベルト	2	本
	13）エアエレメント／スポンジ	1	個
	14）冷却水保温ヒーター	1	個
	15）バッテリー	4	個
2	技術員派遣費	1	式
3	雑材消耗品	1	式

凡例

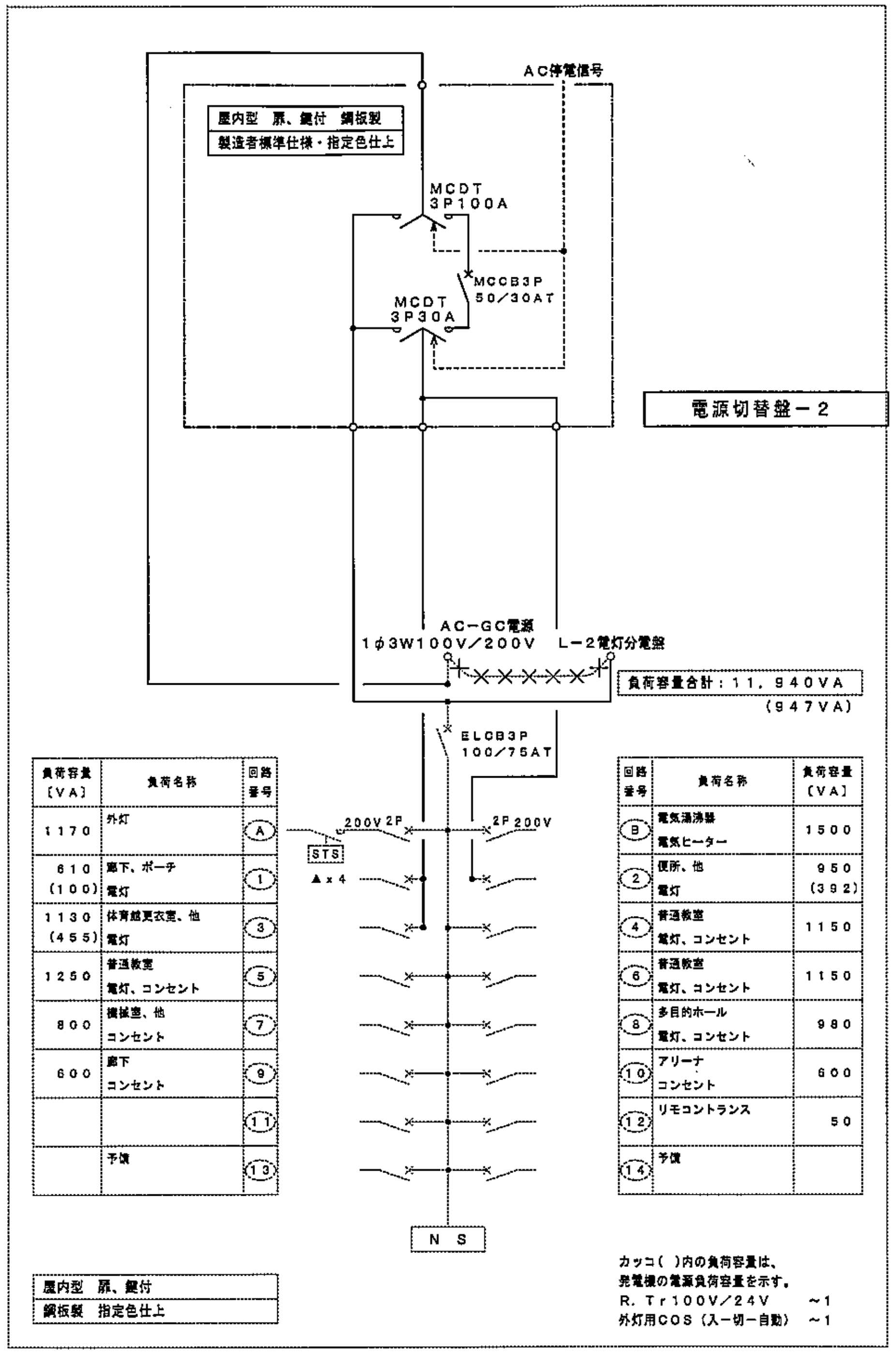
記号	名称	摘要
▭◯▭	照明器具	蛍光灯
●	タンブラスイッチ	1P15A×1 大角連用
◍	コンセント	2P15Ax1 大角連用
◍LK	コンセント	2P15Ax1 抜止型 〃
◍20A	コンセント	3P20Ax1 接地極付 250V 表示付 〃
◪	発電機室制御盤	
Ⓣ	温度スイッチ	機械設備支給品 S.Box1個用（電気工事）
⏚ED	D種接地工事	14φ×1500 端子付

図中特記の無い配管配線は次による。

―――	EEF 1.6-2c	天井内隠蔽
―///―	EEF 1.6-3c	〃
―//2.0―	EEF 2.0-3c（1線アース）	〃

一級建築士事務所 北海道知事登録(上)204号
株式会社 創明建築設計事務所
〒070-0036 旭川市6条通17丁目右1号
Tel:0166-21-8885 Fax:0166-21-8887

管理建築士	担当建築士	縮尺	検図	設計担当	製図訂正	年月日	工事名 / 図面名	図面番号
一級建築士登録 143974号 三嶋 幸利	一級建築士登録 273215号 佐藤 真一	用紙サイズ A-1 A-2 A-3 1/30		Sato	Kinosita	2015.10.15	東聖小学校非常用発電機設置工事 発電機室 電灯・発電設備図	E - 9


AC停電信号
屋内型　扉、鍵付　鋼板製
製造者標準仕様・指定色仕上
MCDT
3P100A
MCCB3P
50/30AT
MCDT
3P30A
電源切替盤－2
AC−GC電源
1φ3W100V/200V
L−2電灯分電盤
ELCB3P
100/75AT
200V 2P
2P 200V
STS
▲x 4
N S

負荷容量合計：11，940VA
（947VA）

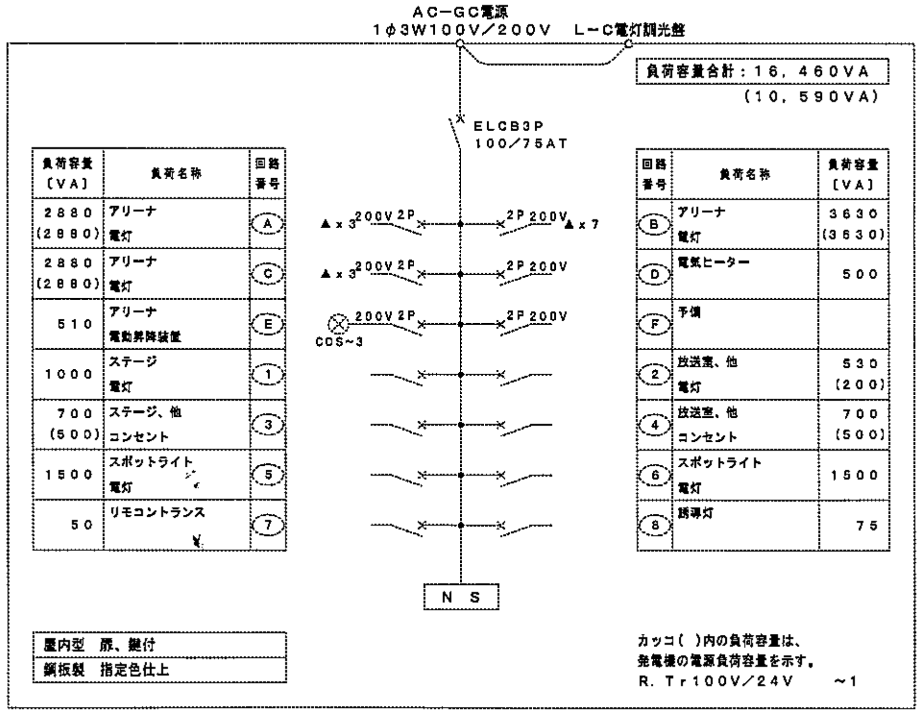
負荷容量〔VA〕	負荷名称	回路番号
1170	外灯	Ⓐ
610 (100)	廊下、ポーチ 電灯	①
1130 (455)	体育館更衣室、他 電灯	③
1250	普通教室 電灯、コンセント	⑤
800	機械室、他 コンセント	⑦
600	廊下 コンセント	⑨
		⑪
	予備	⑬

回路番号	負荷名称	負荷容量〔VA〕
Ⓑ	電気湯沸器 電気ヒーター	1500
②	便所、他 電灯	950 (392)
④	普通教室 電灯、コンセント	1150
⑥	普通教室 電灯、コンセント	1150
⑧	多目的ホール 電灯、コンセント	980
⑩	アリーナ コンセント	600
⑫	リモコントランス	50
⑭	予備	

屋内型	扉、鍵付
鋼板製	指定色仕上

カッコ（ ）内の負荷容量は、
発電機の電源負荷容量を示す。
R. Tr100V/24V　～1
外灯用COS（入−切−自動）　～1

L－1　電灯分電盤（既設）　1階校舎


AC−GC電源
1φ3W100V/200V
L−C電灯調光盤
ELCB3P
100/75AT
▲x 3
200V 2P
2P 200V
▲x 7
COS~3
N S

負荷容量合計：16，460VA
（10，590VA）

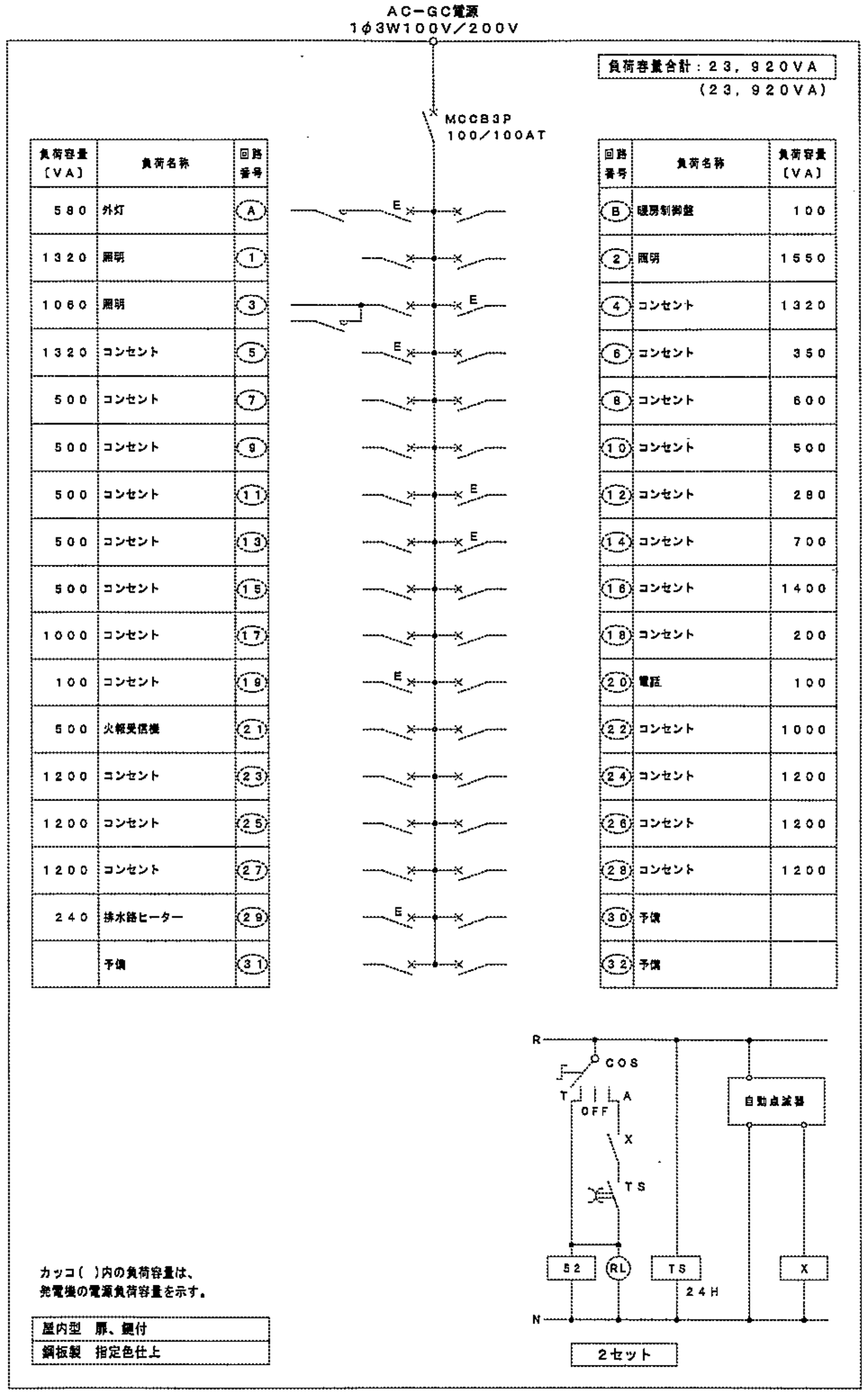
負荷容量〔VA〕	負荷名称	回路番号
2880 (2880)	アリーナ 電灯	Ⓐ
2880 (2880)	アリーナ 電灯	Ⓒ
510	アリーナ 電動昇降装置	Ⓔ
1000	ステージ 電灯	①
700 (500)	ステージ、他 コンセント	③
1500	スポットライト 電灯	⑤
50	リモコントランス	⑦

回路番号	負荷名称	負荷容量〔VA〕
Ⓑ	アリーナ 電灯	3630 (3630)
Ⓓ	電気ヒーター	500
Ⓕ	予備	
②	放送室、他 電灯	530 (200)
④	放送室、他 コンセント	700 (500)
⑥	スポットライト 電灯	1500
⑧	誘導灯	75

屋内型	扉、鍵付
鋼板製	指定色仕上

カッコ（ ）内の負荷容量は、
発電機の電源負荷容量を示す。
R. Tr100V/24V　～1

L－3　電灯分電盤（既設）　体育館


AC−GC電源
1φ3W100V/200V
MCCB3P
100/100AT
E
R
COS
T
OFF
A
X
TS
自動点滅器
52
RL
TS
24H
X
N
2セット

負荷容量合計：23，920VA
（23，920VA）

負荷容量〔VA〕	負荷名称	回路番号
580	外灯	Ⓐ
1320	照明	①
1060	照明	③
1320	コンセント	⑤
500	コンセント	⑦
500	コンセント	⑨
500	コンセント	⑪
500	コンセント	⑬
500	コンセント	⑮
1000	コンセント	⑰
100	コンセント	⑲
500	火報受信機	㉑
1200	コンセント	㉓
1200	コンセント	㉕
1200	コンセント	㉗
240	排水路ヒーター	㉙
	予備	㉛

回路番号	負荷名称	負荷容量〔VA〕
Ⓑ	暖房制御盤	100
②	照明	1550
④	コンセント	1320
⑥	コンセント	350
⑧	コンセント	600
⑩	コンセント	500
⑫	コンセント	280
⑭	コンセント	700
⑯	コンセント	1400
⑱	コンセント	200
⑳	電話	100
㉒	コンセント	1000
㉔	コンセント	1200
㉖	コンセント	1200
㉘	コンセント	1200
㉚	予備	
㉜	予備	

カッコ（ ）内の負荷容量は、
発電機の電源負荷容量を示す。

屋内型	扉、鍵付
鋼板製	指定色仕上

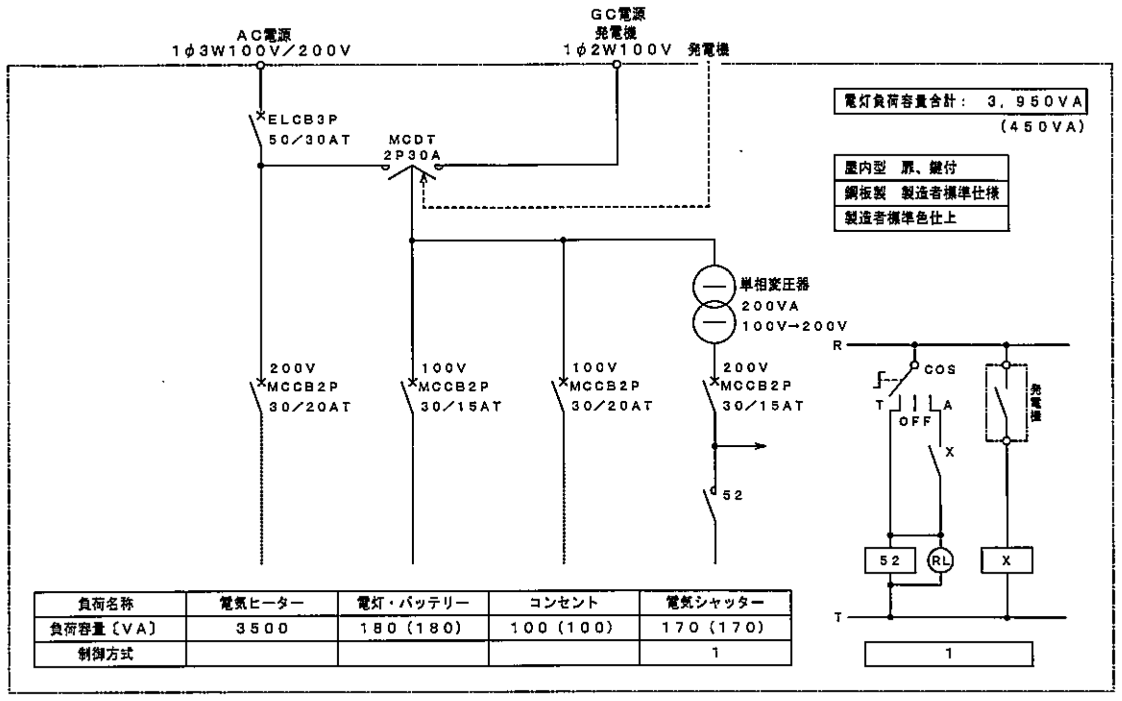
1L－5　電灯分電盤（既設）　1階職員室

凡　例

—×—⁄—	MCCB1P50/20AT
—×²ᴾ—⁄—	MCCB2P50/20AT
—○—⁄—	MC　3P　　20A
STS	タイマー　1回路型　停電補償付
▲	リモコンリレー1P20A

一級建築士事務所　北海道知事登録(上)204号
株式会社　創明建築設計事務所
〒070-0038　旭川市8条通17丁目右1号
Tel:0166-21-8886　Fax:0166-21-8887

管理建築士	担当建築士	縮尺	検図	設計担当	製図訂正	年月日	工事名	図面番号
一級建築士登録 143974号 三嶋　幸利	一級建築士登録 273215号 佐藤　真一	用紙サイズ A－1 A－2 A－3		Sato	Kinosita	2015.10.15	東聖小学校非常用発電機設置工事 図面名 盤結線図－1	E － 10


AC電源
1φ3W100V／200V
GC電源
発電機
1φ2W100V 発電機
ELCB3P
50／30AT
MCDT
2P30A
単相変圧器
200VA
100V→200V
200V
MCCB2P
30／20AT
100V
MCCB2P
30／15AT
100V
MCCB2P
30／20AT
200V
MCCB2P
30／15AT
52
R
COS
T
OFF
A
X
発電機
52
RL
X
T
1

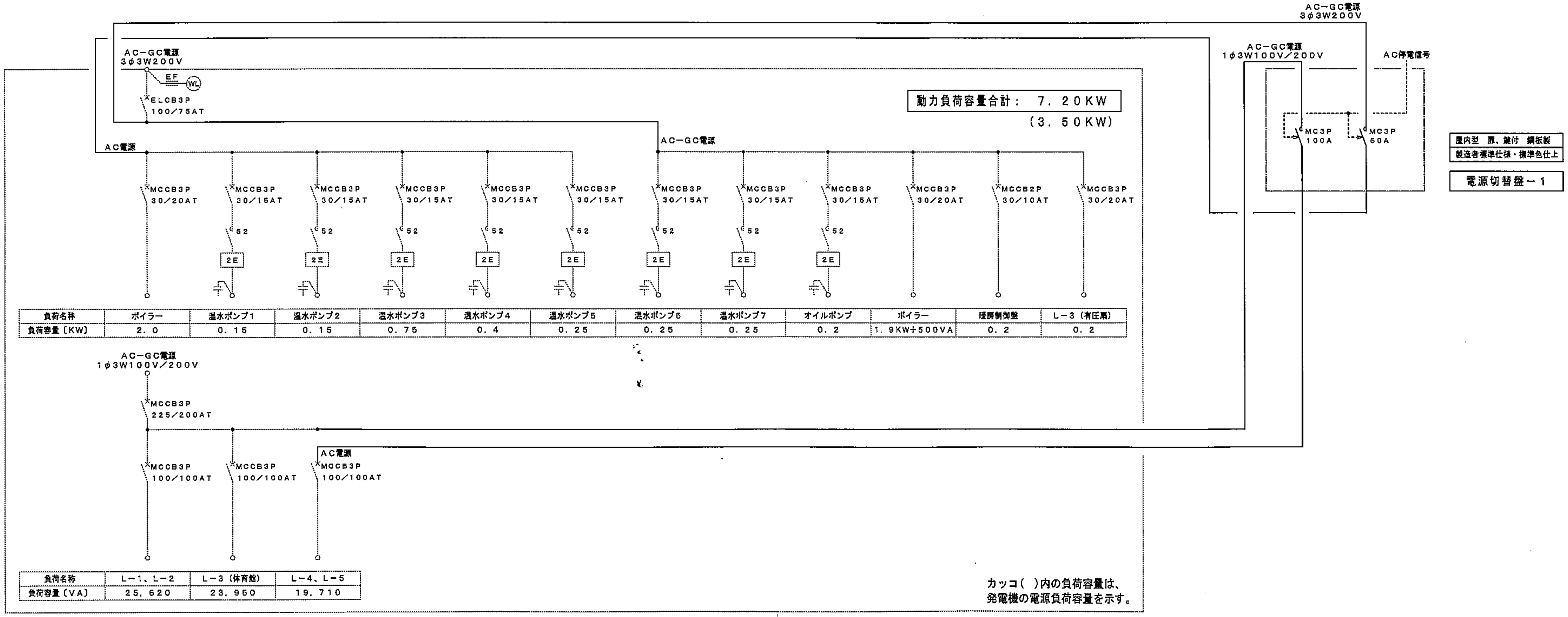
電灯負荷容量合計： 3，950VA
（450VA）

屋内型 扉、鍵付
鋼板製 製造者標準仕様
製造者標準色仕上

負荷名称	電気ヒーター	電灯・バッテリー	コンセント	電気シャッター
負荷容量〔VA〕	3500	180（180）	100（100）	170（170）
制御方式				1

発電機室制御盤

カッコ（ ）内の負荷容量は、
発電機の電源負荷容量を示す。


AC−GC電源
3φ3W200V
AC−GC電源
1φ3W100V／200V
AC停電信号
MC3P
100A
MC3P
50A
AC−GC電源
3φ3W200V
EF
WL
ELCB3P
100／75AT
AC電源
AC−GC電源
MCCB3P
30／20AT
MCCB3P
30／15AT
MCCB3P
30／15AT
MCCB3P
30／15AT
MCCB3P
30／15AT
MCCB3P
30／15AT
MCCB3P
30／15AT
MCCB3P
30／15AT
MCCB3P
30／15AT
MCCB3P
30／20AT
MCCB2P
30／10AT
MCCB3P
30／20AT
52
2E
AC−GC電源
1φ3W100V／200V
MCCB3P
225／200AT
MCCB3P
100／100AT
MCCB3P
100／100AT
AC電源
MCCB3P
100／100AT

屋内型 扉、鍵付 鋼板製
製造者標準仕様・標準色仕上

電源切替盤−1

動力負荷容量合計： 7．20KW
（3．50KW）

負荷名称	ボイラー	温水ポンプ1	温水ポンプ2	温水ポンプ3	温水ポンプ4	温水ポンプ5	温水ポンプ6	温水ポンプ7	オイルポンプ	ボイラー	暖房制御盤	L−3（有圧扇）
負荷容量〔KW〕	2．0	0．15	0．15	0．75	0．4	0．25	0．25	0．25	0．2	1．9KW+500VA	0．2	0．2

負荷名称	L−1、L−2	L−3（体育館）	L−4、L−5
負荷容量〔VA〕	25，620	23，960	19，710

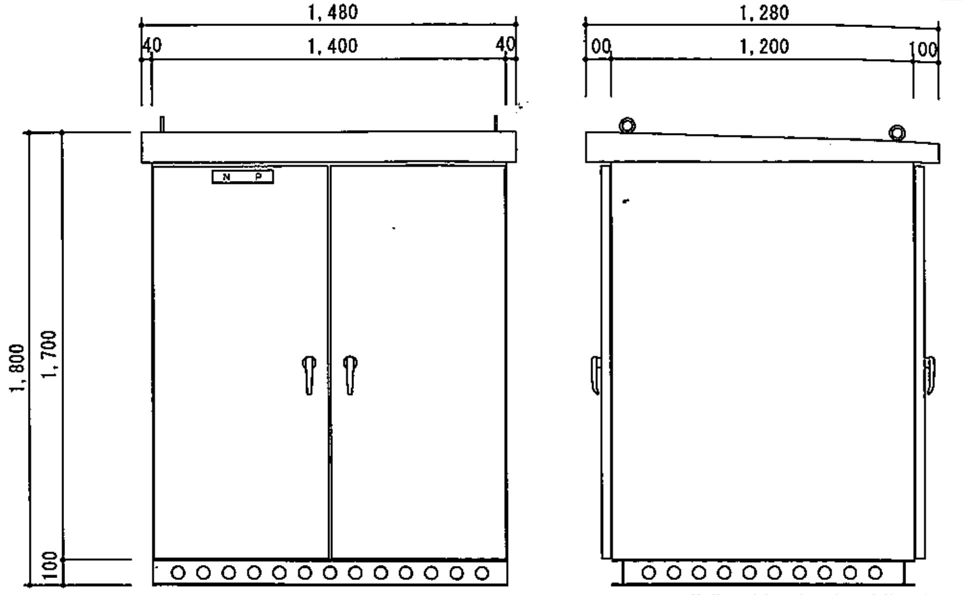
カッコ（ ）内の負荷容量は、
発電機の電源負荷容量を示す。

P−1 動力盤（既設） 1階機械室

一級建築士事務所 北海道知事登録(上)204号 株式会社 創明建築設計事務所 〒070-0038 旭川市8条通17丁目右1号 Tel:0166-21-8886 Fax:0166-21-8887	管理建築士 一級建築士登録 143974号 三嶋 幸利	担当建築士 一級建築士登録 273215号 佐藤 真一	縮尺 用紙サイズ A−1 A−2 A−3	検図	設計担当 Sato	製図訂正 Kinosita	年月日 2015. 10. 15	工事名 東聖小学校非常用発電機設置工事 図面名 盤結線図−2
図面番号 E − 11								

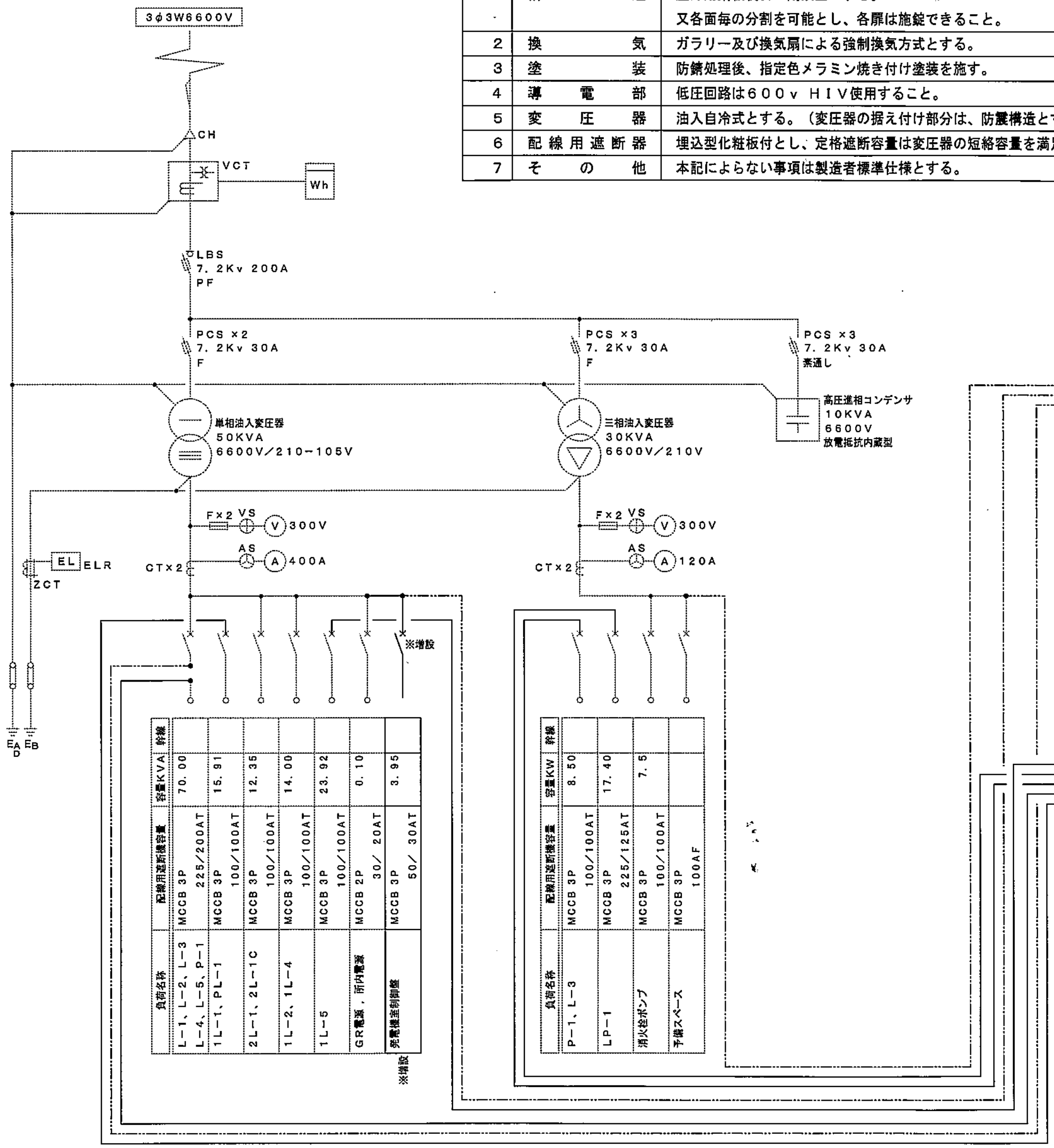
非常用電源盤仕様

1	構造	屋外用鋼板製自立閉鎖型とする。 又各面毎の分割を可能とし、各扉は施錠できること。
2	換気	ガラリー及び換気扇による強制換気方式とする。
3	塗装	防錆処理後、指定色メラミン焼き付け塗装を施す。
4	導電部	低圧回路は６００ｖ ＨＩＶ使用すること。
5	変圧器	油入自冷式とする。（変圧器の据え付け部分は、防震構造とする。）
6	配線用遮断器	埋込型化粧板付とし、定格遮断容量は変圧器の短絡容量を満足すること。
7	その他	本記によらない事項は製造者標準仕様とする。


1,480
40
1,400
40
1,280
100
1,200
100
N P
1,800
1,700
100

※基礎及び土工事は全て建築工事とする。

非常用電源盤参考姿図 S＝1／30

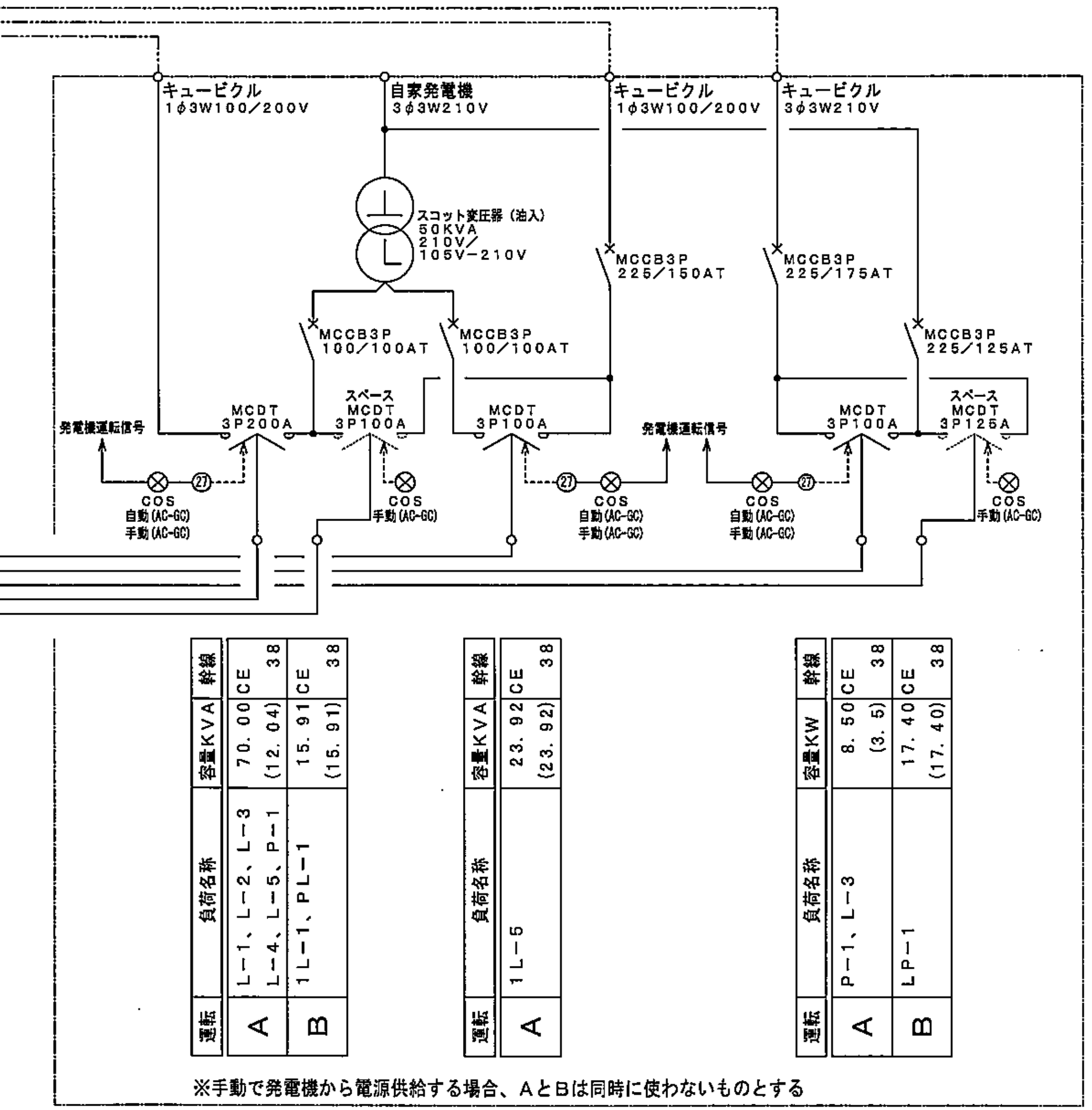

3φ3W6600V
CH
VCT
Wh
LBS
7. 2Kv 200A
PF
PCS ×2
7. 2Kv 30A
F
PCS ×3
7. 2Kv 30A
F
PCS ×3
7. 2Kv 30A
素通し
高圧進相コンデンサ
10KVA
6600V
放電抵抗内蔵型
単相油入変圧器
50KVA
6600V／210−105V
三相油入変圧器
30KVA
6600V／210V
F×2
VS
V
300V
AS
A
400A
120A
CT×2
EL
ELR
ZCT
※増設
EA
D
EB

負荷名称	配線用遮断機容量	容量KVA	幹線
L−1、L−2、L−3 L−4、L−5、P−1	MCCB 3P 225／200AT	70. 00	
1L−1、PL−1	MCCB 3P 100／100AT	15. 91	
2L−1、2L−1C	MCCB 3P 100／100AT	12. 35	
1L−2、1L−4	MCCB 3P 100／100AT	14. 00	
1L−5	MCCB 3P 100／100AT	23. 92	
GR電源，所内電源	MCCB 2P 30／ 20AT	0. 10	
発電機室制御盤	MCCB 3P 50／ 30AT	3. 95	

※増設

負荷名称	配線用遮断機容量	容量KW	幹線
P−1、L−3	MCCB 3P 100／100AT	8. 50	
LP−1	MCCB 3P 225／125AT	17. 40	
消火栓ポンプ	MCCB 3P 100／100AT	7. 5	
予備スペース	MCCB 3P 100AF		

屋外型キュービクル結線図（改修）


キュービクル
1φ3W100／200V
自家発電機
3φ3W210V
キュービクル
1φ3W100／200V
キュービクル
3φ3W210V
スコット変圧器（油入）
50KVA
210V／
105V−210V
MCCB3P
225／150AT
MCCB3P
225／175AT
MCCB3P
100／100AT
MCCB3P
100／100AT
MCCB3P
225／125AT
発電機運転信号
MCDT
3P200A
スペース
MCDT
3P100A
MCDT
3P100A
発電機運転信号
MCDT
3P100A
スペース
MCDT
3P125A
27
COS
自動(AC-GC)
手動(AC-GC)
COS
手動(AC-GC)
COS
自動(AC-GC)
手動(AC-GC)
COS
自動(AC-GC)
手動(AC-GC)
COS
手動(AC-GC)

運転	負荷名称	容量KVA	幹線
A	L−1、L−2、L−3 L−4、L−5、P−1	70. 00 (12. 04)	CE 38
B	1L−1、PL−1	15. 91 (15. 91)	CE 38

運転	負荷名称	容量KVA	幹線
A	1L−5	23. 92 (23. 92)	CE 38

運転	負荷名称	容量KW	幹線
A	P−1、L−3	8. 50 (3. 5)	CE 38
B	LP−1	17. 40 (17. 40)	CE 38

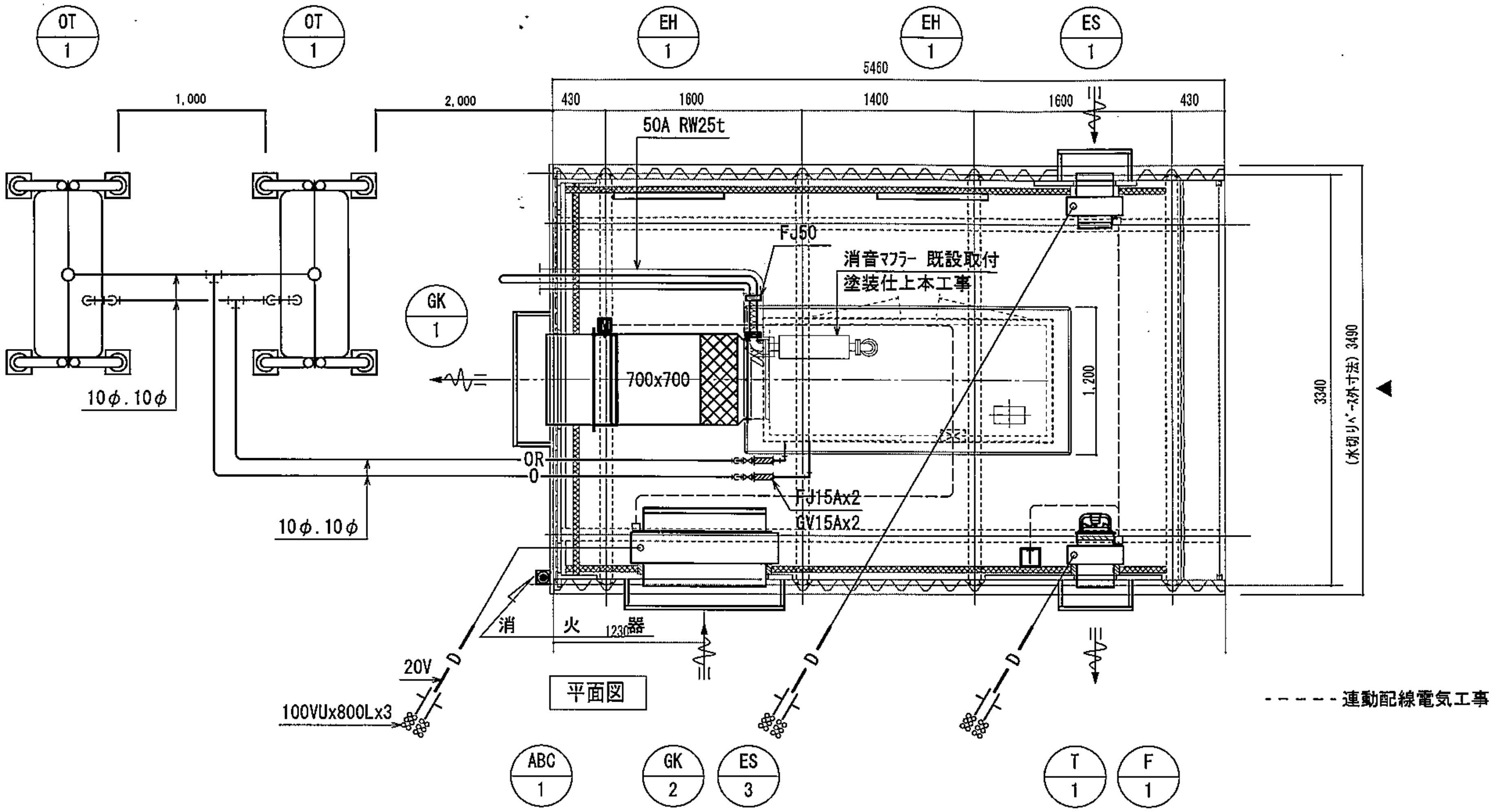
※手動で発電機から電源供給する場合、AとBは同時に使わないものとする

非常用電源盤

カッコ（ ）内の負荷容量は、
発電機の電源負荷容量を示す。

一級建築士事務所 北海道知事登録(上)204号
株式会社 創明建築設計事務所
〒070-0036 旭川市6条通17丁目右1号
Tel:0166-21-8888 Fax:0166-21-8887

管理建築士	担当建築士	縮尺	検図	設計担当	製図訂正	年月日	工事名 / 図面名	図面番号
一級建築士登録 143974号 三嶋 幸利	一級建築士登録 273215号 佐藤 真一	用紙サイズ A−1 A−2 A−3		Sato	Kinosita	2015. 10. 15	東聖小学校非常用発電機設置工事 盤結線図－3	E － 12


OT 1
OT 1
EH 1
EH 1
ES 1
5460
1,000
2,000
430
1600
1400
1600
430
50A RW25t
FJ50
消音ﾏﾌﾗｰ 既設取付
塗装仕上本工事
GK 1
700x700
1,200
3340
(水切りベース外寸法) 3490
10φ.10φ
10φ.10φ
OR
O
FJ15Ax2
GV15Ax2
消 火 器
1230
20V
100VUx800Lx3
平面図
------連動配線電気工事
ABC 1
GK 2
ES 3
T 1
F 1

器 具 表

記号	名称	仕様	数量
EHD－1	自家発電機	キュービクル式 非常用自動発電装置 85kVA電気工事 消音音マフラー既設再使用 塗装仕上げ本工事 基礎 建築工事	1
GK－1	排気ガラリ	アルミ 700x700 防鳥網SUS 防雪板共SUS 電気シャッター 1φ 200V PS-70SMTA 消音BOX共 RW25m/m	1
GK－2	給気ガラリ	アルミ 1,000x100 防鳥網SUS 防雪板共SUS 電気シャッター 1φ 200V PS-100SMTA 消音BOX共 GW25m/m	1
F－1	有圧扇	羽根径 200φ 風量 500m/h EWF-20YSA ES付 1φ 100V 27W 消音BOX GW25m/m 防風板 SUS	1
ES－1	電気シャッター	PS-20SMA 消音BOX GW25m/m 防雪板 SUS	1
EH－1	電気ヒーター	暖房能力 1.75kw 消費電力 1φ 200V 1.75kw サーモ内蔵 ｽﾃﾝﾚｽ製	2
T－1	温度調節器	露出型 （機器と連動運転 配管・配線電気工事）	1
OT－1	灯油タンク	490L 角型市販品 屋根取付 束石×4 表示銘板 付属一式	2
ABC－1	消火器	ABC粉末 3K 10型 SUS露出BOX取付	1

一級建築士事務所 北海道知事登録(上)204号
株式会社 創明建築設計事務所
〒070-0038 旭川市8条通17丁目右1号
Tel:0166-21-6886 Fax:0166-21-6887

管理建築士	担当建築士	縮尺			検図	設計担当	製図訂正	年月日	工事名 / 図面名	図面番号
一級建築士登録 143274号 三嶋 幸利	一級建築士登録 273215号 佐藤 真一	用紙サイズ	A－1	1/25		Sato	Takahasi	2015.10.15	東聖小学校非常用発電機設置工事	M － 01
			A－2						平面図 自家発電機ダクト設備	
			A－3	1/50						